

文京学院大学大学院  
福祉医療マネジメント研究科（専門職大学院）  
学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

	ページ
(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況・・・・・・・・・・	2
ア. 本学の現状把握と分析・・・・・・・・・・	2
イ. 地域・社会的動向等の現状把握・分析・・・・・・・・・・	3
A. 福祉医療分野を取り巻く現状（文京区）	
B. 福祉医療分野を取り巻く現状（全国）	
ウ. 新設研究科等の趣旨目的、教育内容、定員設定・・・・・・・・・・	5
エ. 学生確保の見通し・・・・・・・・・・	7
A. 学生確保の見通しの調査結果	
B. 新設研究科の分野の動向	
C. 競合校の状況	
D. 既設研究科の学生確保の状況	
E. その他、申請者において検討・分析した事項	
オ. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果・・・・・・・・・・	13
(2) 人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・	14
ア. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）・・・・・・・・	14
イ. 上記ア. が社会的、地域的な人材需要の動向等を 踏まえたものであることの客観的な根拠・・・・・・・・	15

## (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況

### ア. 本学の現状把握と分析

文京学院大学は、1924（大正13）年に学祖島田依史子が開設した「島田裁縫伝習所」に始まった。以来、女子に「自立と共生」を教えてきた。その後、医学検査の部門をいち早く設置し、加えて福祉に関する部門も設立して、短大・4年制女子大学、共学という道のりを歩んできた。

現在は、外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部という4学部に、10学科と5研究科を擁する総合大学へと進化してきた。

特に2017年から、保健医療学部の作業療法学科・理学療法学科・臨床検査学科・看護学科の4年生が一堂に会して、一つの保健医療の課題に各学科・職種の視点からのアプローチを出し合い、多職種連携やコミュニケーションの重要性を学ぶ「チーム医療」というディスカッション型の講義も取り入れるなど、福祉医療分野の教育にも注力している。

4学部で4,653名、5研究科で122名が学び、東京都文京区と埼玉県ふじみ野市に2キャンパスを構える。また、それぞれのキャンパスに隣接する幼稚園が2園、文京区内に付属の中学・高校も備える、合計で6,000人を超える総合教育学院となっている。（2022年5月1日現在）

そんな中、社会人の学び直し「リスキリング」に対するニーズにもいち早く対応すべく、1996年6月に「生涯学習センター」を設置した。

#### <各種年表>

- 1924年 島田裁縫伝習所
- 1927年 本郷女学院と改称
- 1932年 本郷家政女学校に組織名称変更
- 1932年 十佳女子高等職業学校（甲種実業学校）を開校
- 1935年 本郷家政女学校を本郷商業家政女学校に校名変更
- 1947年 本郷商業家政女学校を文京女学院に組織名称変更
- 1951年 財団法人文京学園を学校法人文京学園に改組
- 1959年 文京女学院医学技術者養成選科開校
- 1962年 文京女学院医学技術者養成選科を文京女学院医学技術科に改称
- 1964年 文京女子短期大学開学（英語英文科）
- 1967年 文京短大付属高等保育学校開校
- 1969年 文京保母専門学校を開校
- 1976年 文京女学院医学技術科を文京女学院医学技術専門学校と改称
- 1982年 文京女子短期大学に経営学科と保育学科を開設

- 1991年 文京女子大学経営学部経営学科を開学（ふじみ野キャンパス）短大と併存
- 1996年 生涯学習センターを開設
- 1997年 人間学部人間学科、大学院 経営学研究科を開設
- 1999年 大学院人間学研究科を開設
- 2001年 外国語学部（本郷キャンパス）、 大学院人間学研究科心理学専攻を開設
- 2002年 文京女子大学を文京学院大学に校名変更
- 2003年 人間学部共生社会学科、保育学科、人間福祉学科、心理学科を開設
- 2004年 経営学部が本郷キャンパスへ 文京女子短期大学を文京学院短期大学に改称
- 2005年 全学部が男女共学へ  
人間学部福祉学科に介護福祉コース、大学院 外国語研究科を開設
- 2006年 保健医療技術学部（理学療法・作業療法・臨床検査学科）を開設  
文京学院短期大学も男女共学に
- 2008年 人間学部保育学科を児童発達学科に改称
- 2010年 大学院 保健医療科学研究科を開設
- 2014年 保健医療技術学部看護学科を開設、文京学院短期大学を閉校
- 2021年 大学院 看護学研究科を開設

## イ. 地域・社会的動向等の現状把握・分析

### A. 福祉医療分野を取り巻く現状（文京区）

本研究科を設置する文京区は、医師の数が東京都で新宿区に次ぐ2番目に多い3,701人であり【資料1】、病院9、診療所278を設置しているため、看護師や理学療法士、作業療法士の就業者も多い。また、特別養護老人ホームやその他の福祉施設が29、保育関係82、児童館や育成館など49、幼稚園27、小学校・中学校・高等学校76、大学・短大19、特別支援学校3などがあり（以上は文京区ホームページの様々なページより抜粋【資料2】）、まずは近隣に入学対象者が多く働いている環境であると言える。文京区以外でも、通学可能な隣接地域の福祉医療関係施設で働く人は多く、すべての組織に経営者や管理者は必要であり、専門職に就く人材が主体的に管理職への道を選択するよう誘うのが経営学である。

本研究科は、経営学の基本的知識の学修から始め、階層化と細分化した専門職間のコミュニケーションを円滑化し、社会的企業・組織の目的の探索とその達成の効率性を高めることに目的を置く。経営学の基礎的知識を専門職人材に提供し、専門職の能力を組織として活かすことで、専門職人材の自己実現と組織価値の最大化を目指す。通常の経営大学院（ビジネススクール）は、産業や業種を問わず、多種多様な事業に従事するビジネスパーソンに対して、経営学もしくは経営管理学の学位を授与するカリキュラムを展開する。一方、本研究科は福祉医療分野の専門職業人とその組織を経営・管理する人材、さらには福祉医療事業を創業しようとする起業家的人材を対象を限定した専門職大学院である。

福祉医療という人々の営みに重要な社会生活の基盤をベースに、そこに展開する医療や保健、保育・介護等に従事する様々な専門職とこれを支える個々人の「自立」を支援し、個々の能力を有効かつ効率的に結合する「共生」の組織運営を実現することは、本学の教育理念に沿った高度な専門職業人の養成という目的に結実する。

## B. 福祉医療分野を取り巻く現状（全国）

2022年の福祉医療分野（統計上は、医療・福祉）の就業者数892万人は、卸売業・小売業（1,052万人）、製造業（1,046万人）に次ぐ規模であり、広い意味で福祉医療に関連する分野では、教育・学習支援が337万人、公務が256万人となっている（総務省「労働力調査」【資料3】）。全就業者数6,716万人のうち、医療・福祉は13.3%、教育・学習支援は5.0%、公務は3.8%を占め、これらの社会的な役割は非常に大きいと言える。

福祉医療分野の従事者の処遇面に目を向けると、全産業との比較でこれを上回っているのは医師・看護師のみで、准看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・介護支援専門員・介護職員、障害福祉分野の職員（保育士を含む）等は、全て全産業平均を下回っている。これらの人材の処遇改善は急務である。（令和4年版 厚生労働白書 P46、P50【資料4】）

また、比較的処遇に恵まれている看護師においても、40歳以降の処遇に関する伸び悩みが指摘されている。これらは、少子高齢化が進むことが確実な我が国において、不足が予想される福祉医療分野の人材確保に関して好ましくない状況で、早急にこの人材不足の懸念のある分野の人材に対するキャリア開発施策を講じて、より高度な専門職へのキャリアアップを目指せる道筋を示す必要があることを物語っている。

また、少子高齢化が進む日本においては、今まで以上に地域包括システムの導入が必要であり、地域の状況によって医療・介護人材の確保が必要となっている。従来のように医療と福祉がそれぞれの分野で独立したサービスを提供するのではなく、これらが連携してチームとして地域へのサービス提供をすることで、質の向上と人手不足への有機的な対応が可能となる。

国民からの理解の高まりと高度な人材への成長で、よりやりがいのある仕事となり、人材確保へと結びつけることができる。

本研究科においては、福祉医療分野に関連する様々な職種の専門職が一堂に会して学びを行うことで、それぞれの職種への理解度の高まりや、連携した視点の必要性への気づきも生まれる。

これら社会の要請により、本研究科での学びの必要性は多くの社会人専門職や、その方たちが勤務する福祉・医療施設のニーズに合致していることになる。

昨今の学び直しやリスキングのニーズの高まりも、これを後押ししている。今までは、福祉や医療といった個別の学びの場や、経営学（MBA）の学びの場はあったが、福祉と医療にかかわる専門職が、経営学という共通言語で課題解決を学ぶ場が生まれる

ことは、まさに時代の要請に沿ったものと言える。

加えて、社会人を中心に募集を行う事にも鑑み、入学時期を春と秋の2回に設定することにした。これは様々なヒアリングでも明らかとなった秋入学の必要性がある。社会人はそれぞれの業務に繁忙の波があり、人によっては春からの入学が難しいとか、秋からの入学の方が望ましいという事情を持つ方も少なからず存在する。これらの方への学びの場の提供の後押しにつながるものと思料する。本学が実施したアンケート調査でも、春入学が良いと秋入学が良いの比率は2：1で、春の方が高い比率ではあるものの、「入学時期は複数から選べた方が良い」にもその倍以上の選択があり、入学時期によって好ましい時期が変化する可能性がうかがえる。(詳細は後述)

2040年に必要とされる医療・福祉就業者数は1,070万人。一方で、その時点で確保が見込まれるのは974万人と推計され、(令和4年版 厚生労働白書P7【資料5】)このままだと96万人もの不足が見込まれている。これらの解決のための施策として、「処遇の改善」「多彩な人材の確保・参入促進」「AI・ITC」「多職種連携」「組織マネジメント改革」といった取り組みが、持続可能な社会保障制度の実現のために必要だといわれている。(令和4年版 厚生労働白書〔概要〕のP5【資料6】)。

#### ウ. 新設研究科等の趣旨目的、教育内容、定員設定

本研究科は、前述のように、今後の少子高齢化社会を見据えて、人手不足が確実視されている福祉医療分野の人材が経営学を学ぶことで、チームや組織をけん引する高度な専門職となることを目指すものである。また、福祉医療分野の経営・管理職がより高度な組織運営を学ぶため、あるいは福祉医療の周辺分野の企業が業界発展することに寄与するため、もしくは福祉医療分野の起業家や海外展開を目指すメンバーにも、それぞれの学びを提供することが出来る。

その教育内容は、経営学の基本から応用を学ぶこと、複数の専門職や管理職が相互に学び事例研究をすることで多職種連携の基礎を涵養すること、自身の専門分野の知識を深めたり、周辺分野の学びを補完したり、各自の興味を深める他分野の講義を受けるなど、重層的な学びを通じて福祉医療分野の学びを深めることが出来る。

これらチームでの学びを促進させるためにも、社会人を中心に、一部海外からの留学生や、すでに来日をして日本語を学んでいる福祉医療分野の仕事を目指す海外人材、また大学で福祉医療分野を専攻後にストレートでさらにその学びを深めたい大学生など、幅広いメンバーを受け入れて、チームでの学びを促進させることが必要と考えている。

本件研究科では、これらの学修を実現させるため、15名(うち1名は開設年度は兼任、2年目から専任)の専任教員を確保した。特に学びの集大成と言える2年次後期の「課題プロジェクト研究」においては9名の教員で担当をする。1クラス2~3名を集中的に指導するため、入学定員は春入学25名・秋入学25名というのが適した規模となる。

学費については以下の通り検討した。本研究科はマネジメントを学ぶビジネススクールの範疇に入るが、その対象を福祉医療分野に限定しているところが特徴と言える。それらの現場の専門職だけではなく、経営者や管理職、この分野における起業家や関連分野の企業のメンバーも広く対象と考えている。

一方で既存のマネジメントスクールを見ると、その学費は決して安価ではなく、国内MBAを謳う各大学院では、年間300万円で2年間というようなところも散見される。本研究科が対象としている福祉医療分野において、社会人の専門職（非管理職）や経営・管理職に対し2021年4月に、本研究科開設に向けた事前調査を行った。（有効回答総数は、非管理職379名、経営・管理職58名 【資料7】）

その設問の中に「大学院に支払い可能な授業料」という設問を設定した。その解答は以下の通りだった。

「非管理職」 回答数 327（大学院進学に興味がある人のみ回答）

	人数	割合%
30万円程度	161	49.2
50万円程度	94	28.7
75万円程度	31	9.5
100万円程度	21	6.4
125万円程度	0	0
150万円程度	3	0.9
その他	17	5.2
合計	327	

「経営・管理職」 回答数 58

	人数	割合%
50万円程度	26	45.6
75万円程度	12	21.1
100万円程度	10	17.5
125万円程度	4	7.0
150万円程度	0	0.0
200万円程度	1	1.8
その他	4	7.0
合計	57	

専門職大学院等で学び直しをする場合、福祉医療系の専門職（非管理職）が学費として負担できるのは概ね30万円程度という回答が約半数。50万円程度までを含めて約8割が、一般的な経営大学院での授業料の負担は難しいという実態が分かった。

今回、本学が対象の中心と考えているこれらの職種の年収が決して高くないことは、厚労省の資料でも確認が出来ており、そのため現在では魅力の乏しい職種と考えられている。この影響もあってか、これら福祉医療分野の人員は2040年には96万人も不足すると言われている（令和4年 厚生労働白書）。

よって、対象となる福祉医療系の専門職が学べるような学費を考慮して、年収によって奨学金の支援額を調整し、実質年収の1割程度の負担で学ぶことが可能となるような、本研究科独自の奨学金を設定することを計画している。

#### 【福祉医療マネジメント研究科の学費】

入学検定料		入学金	授業料
一般	特別推薦等		
25,000 円	10,000 円	200,000 円	900,000 円

また、入学検定料においては、一般は25,000円としているが、本学が指定した福祉医療施設・団体の職員や本学の卒業生を対象とした特別推薦入試においては10,000円としている。

## エ. 学生確保の見通し

### A. 学生確保の見通しの調査結果

2022年11月から2023年1月にかけて、福祉医療分野に携わる社会人（専門職及び経営・管理職）及び学生（本学の保健医療技術学部と人間学部の在学学生）に対して、本研究科への進学希望者の実態を把握するために、アンケート調査を実施した。

設問内容は【資料8-a】から【資料8-e】

回答内容は【資料9-a】から【資料9-e③】

#### ① 対象の属性

本研究科における学びの対象としているのは、福祉医療分野に関係する「経営・管理職」と「専門職」が中心となる。そのため、これらに関係する施設や病院、社会福祉法人、幼稚園、自治体などに対してアンケート調査を行った。この対象は、本学の教員・職員のネットワークを活用して、協力をお願いした。

また、専門職としては、本学の当該学科（理学療法学科・作業療法学科・臨床検査学科・人間福祉学科など）の卒業生や、同様の学科の在学学生にも、入学意向調査を行った。

各施設においては、その窓口になっていただけそうな方に対してアンケートを依頼し（郵送もしくはメール）、所属する福祉医療分野の複数メンバーに回答を呼び掛け

てもらった。(各自が forms にアクセスしての個別アンケート調査だったため、分母が特定できず、回収率の算出はできない)

- ・ 郵送にてアンケートお願いした施設・団体 519 か所
- ・ メールにてアンケートをお願いした施設・団体 32 か所
- ・ 郵送にてアンケートをお願いした本学の卒業生 2,747 名
- ・ 学内インフラにてアンケートをお願いした在学生 最大 2,800 名

また、社会人向けのアンケートの冒頭の枝分かれ質問に「経営・管理職」か「それ以外」かの設問を設けたので、回答総数 (1,869 名) は以下の 5 カテゴリーに分類できる。

	在学生	卒業生 社会人	一般 社会人	小計
経営・管理職		10	328	338
管理職ではない	726	83	722	1531
小計	726	93	1050	1869

② 進学希望状況について

これら全 1,869 名の中で、進学意向の確認を行った。社会人（卒業生及び一般）で「入学したい」という回答は、経営・管理職職が 20 名、管理職以外が 32 名。在学生で「卒業してすぐに入学したい」が 13 名だが、うち現在の 3 年生（卒業時に本研究科が開設される学年）は 5 名だった。これら合計で 57 名の進学意向が得られた。（回答に矛盾のあるものを除いた実数）

◆卒業生社会人

	入学したい
経営・管理職	1
管理職ではない	0

◆一般社会人

	入学したい
経営・管理職	19
管理職ではない	32

◆在学生（3 年）

	卒業したらすぐに 入学したい
4 年生	3
3 年生	5
1・2 年生	4



在学生の中で、設置年と卒業年が一致する（2024年卒：現状の3年生）は5名だったので、その他の学年7名を除いて集計を実施。進学意向としては合計57名となり、初年度の定員50名を超える結果となった。

この57名のうち、入学時期に関して「春」「秋」「わからない」「選択できる方がよい」の4つの選択肢の結果は以下ようになった（複数回答可）

◆春入学・秋入学の意向

	春	秋	わからない	選択できる
経営管理職	4	4	1	12
管理職ではない	10	5	2	17
大学3年生	5	1	0	1
合計	19	10	3	30

また、「選択できる方がよい」という回答を等分した場合、春・秋ともに25名を上回り、当初想定している春・秋ともに25名の定員を充足することが可能と言える。

なお、管理職への質問では、自身の入学時期の質問ではなく、部下（メンバー）の進学時期についての質問になっているので、上記数字は参考値としてみて頂きたい。

詳細については、資料編に記載をするが、本アンケート調査のアウトライン集計を以下に表示する。なお、このアウトライン集計は単純集計を行った結果であり、クロス集計の数字と若干の誤差があることを申し添える。

また、在学生の「入学したい」は、回答の選択肢「卒業したらすぐに入学したい」の数字のみを学年に関わらず採用している。（このほかの入学意向がある選択肢としては、「卒業して数年したら入学したい」「管理職になる前の準備段階で入学したい」「管理職になったら入学したい」という選択肢がある）

春入学・秋入学に関する質問については、入学する時期は「春が良い」「秋が良い」「わからない」「選択できる方がよい」という選択肢の中で、全体としては「春：23.3%」「秋：13.5%」「選択できた方がよい：45.3%」という結果になった。それぞれのライフイベントの影響を受けて、入学に適する時期が変化する可能性が読み取れる結果となった。

加えて、経営・管理職に対して自身の部下（メンバー）に入学意向があった場合についても質問した。「金銭的にも応援をする（47名）」、をはじめ様々な支援をするという回答を得られた。「職員に入学を勧める」という回答も5名あり、職員の教育・キャリアアッププログラムとしての潜在的な需要にも、十分な手ごたえがあった。

<アンケート集計概要>

	経営・管理職		専門職		在学生		合計	
	有効回答 338		有効回答 805		有効回答 726		有効回答 1869	
	人	%	人	%	人	%	人	%
経営管理の専門職大学院で								
是非学びたい			116	14.4	57	7.9	173	11.3
学びたい			445	55.3	428	59.0	873	57.0
本専門職大学院に								
入学したい	20	5.9	33	4.1	13	1.8	66	3.5
入学を検討する	121	35.8	260	32.3	177	24.4	298	15.9
部下が入学する場合								
時間的配慮をする	155	45.9					155	45.9
金銭的支援をする	47	13.9					47	13.9
社として派遣入学させる	5	1.5					5	1.5
本卒業生を								
採用したい	49	14.5					49	14.5
採用を検討	159	47.0					159	47.0
入学の時期は								
春が良い	55	16.3	133	16.5	247	34.0	435	23.3
秋が良い	66	19.5	113	14.0	74	10.2	253	13.5
選べた方が良い	163	48.2	392	48.7	292	40.2	847	45.3

B. 新設研究科等の分野の動向

総務省「労働力調査【資料1】」によると2022年12月の就業者数は6,716万人。うち卸・小売業1,052万人、製造業1,046万人に次いで、福祉・医療分野は892万人である。また教育学習支援337万人、公務256万人であり、広い意味で福祉医療に関係する分野の就業者は全体の22.1%と社会的な役割は非常に大きいものと考えられる。特に、福祉医療分野では、医師が全国に約34万人、看護師は約127万人、理学療法士は約11万人、作業療法士は約5万人、社会福祉士は約26万人、介護福祉士は約175万人である。

また、近年の少子高齢化の影響からも、福祉医療施設の需要は年々高まってきており、そこで働くメンバーの人手不足や労働環境・処遇改善、メンバーのキャリアパスなど様々な課題がクローズアップされてきており、2040年には福祉医療分野就業者が96万人も不足するとの試算もある。(以上、厚生労働白書 令和4年版—社会保障を支える人材の確保—より【資料5】)

福祉医療関連の業務は、その多くを行政やNPO等も含む「いわゆる非営利企業」が担っており、採算や利益を追求する一般企業とは一線を画す団体であることが多い。非営利企業は、市場機能が十分に機能しない分野で社会の有形・無形の資産を増加させる活動を行う。社会のために必要な仕事を発見し、これを解決するための仕事であるが、私有財産との関係が希薄なために、競争意識をもつことが少なく、そのことが、必要とされる経営管理ノウハウの導入を遅らせることとなっている。

また、一部の専門職を除き、収入レベルが決して高いと言えず、職種としても人気業界や人気分野にはなっていないのが現実である。

少子高齢化がますます進展していくことから、福祉医療系の専門職の重要性や必要性が高まっていくことは明白である一方で、これらの職種の人手不足感がいよいよ高まってきている。

その一つの解決策が、これらの専門職のキャリアパスを確立し、働き甲斐と一定以上の収入が兼ね備わった職種・職域へと変化させていくことが重要だと言える。

### C. 競合校の状況

本学は新研究科「福祉医療マネジメント研究科」を、今までになかった専門職大学院だと考えている。それは、経営学を学ぶビジネススクールではあるが、そのターゲットを福祉医療分野の経営・管理職や専門職、およびこれから福祉医療分野のビジネスに係わろう・目指そうとしている社会人や学生に絞ったという事が理由である。

よって本研究科は、既存の分類でいう「社会科学系」と「保健系」の2つの系統の大学院を競合とみなすこともできる。これらの志願倍率と入学者数の経年推移を見たのが【資料11】である。社会科学系の志願倍率は増加傾向、入学者数も漸増傾向にある。保健系は、志願倍率は横ばいであるものの、入学者数は漸増傾向が見て取れる。今後については、国のリスクリングの推進施策もあって、入学希望者が減少するとは考えにくく、一定の入学希望者を確保できるのではないかと考える。

また、具体的な競合校としては、まったく同じコンセプトとは言えないものの、「日本社会事業大学大学院」や「日本福祉大学大学院」「国際医療福祉大学大学院」などが競合と位置付けられる。これらの大学院においても、一定の学生が入学している実績を確認している【資料12-1】。事前の福祉施設や医療関係者へのヒアリングからも、福祉医療系専門職は専門職スキルをOJT等で伸ばすことには問題はないが、組織やチームをけん引するというマネジメントスキルを持ったリーダーになるための学びの機会は少ない、という実態がある。これは一般的な専門職だけではなく、医師・看護師等にも共通して言える状況とのことで、既存のビジネススクールにもこれらの職種の入学者は毎年1～2割程度存在するという（立教大学マネジメントスクールへのヒアリングより）。これら専門職がリスクリングの学びの場として、新たに開設される本研究科を選択するという可能性は十分にあると考えられる。

また競合3校の収容定員充足状況については【資料 1 2-2】の通りとなっている。3校のうち、日本福祉大学大学院（愛知県）については定員未充足となっているが、日本社会事業大学大学院の福祉マネジメント研究科（東京都）は入学定員充足率が1.34、収容定員充足率も1.34、国際医療福祉大学大学院の医療福祉学研究科医療福祉経営専攻（東京都・赤坂キャンパス）は入学定員充足率が1.18、収容定員充足率0.91となっている。

3校全てが定員充足に至ってはいないものの、東京に立地する2校を見ても、これらの分野の大学院は十分に定員充足が見込めると考えられる。

#### D. 既設研究科の学生確保の状況

直近3年間の本学各研究科の定員充足率は以下の通りである。

研究科	専攻	収容定員	令和2年		令和3年		令和4年	
			人数	充足率%	人数	充足率%	人数	充足率%
外国語学研究科	英語コミュニケーション専攻	20	4	20	7	35	11	55
経営学研究科	経営学専攻	60	35	58	33	55	34	57
保健医療科学研究科	保健医療科学専攻	40	33	83	43	108	41	103
看護学研究科	看護学専攻 ※令和3年開設	20	—	—	4	40	8	40
人間学研究科	人間学専攻	20	6	30	8	40	9	45
	心理学専攻	40	21	53	19	48	19	48
合	計	200	99	50	114	57	122	61

保健医療科学研究科は定員を充足しているものの、他研究科においては下回っているが、概ね50%程度の充足率をキープしている。

引き続き、学部新規卒業生および社会人卒業生を中心に、またアクセスの良さを強みとして一般社会人のリスクリング需要をターゲットとして、PRを継続して多くの学びを提供していきたいと考えている。

#### E. その他、申請者において検討・分析した事項

本研究科の構想段階で実施した事前アンケート（2021年4月【資料7】）において、専門職大学院への進学をしない理由で「金銭的余裕が無い」との回答が47.4%、支払い可能な学費が「30万円程度が49.2%」、「50万円程度が28.7%」と、入学意欲に学費が関係していることも浮き彫りとなった。医師・看護師においてはその年収が全産業平均以上だが、それ以外の専門職は押しなべて収入が低く、その改善は業界としても急務という調査結果も出ている。（令和4年 厚生労働白書より）

この状況を打破するには、まずは学びの場を現状の年収で提供できることが必要と考え、本研究科独自の特別奨学金を設定することにした。

設置後3年目以降には、厚生労働省の施策「教育訓練給付制度 専門実践教育訓練」の対象となることを目指すが、それを待たずに学びの場を提供するため、入学者の実質的な学費負担が年収の1割程度になるような奨学金を企画設計した。

2022年のアンケートの中にも本研究科が「特別奨学金等の支給により年収の1割程度の実質負担で学べる」構想があることを記載したパンフレットを見てもらった結果、この項目に注目したという回答が社会人で33%もの高い回答となり【資料9-d 問5】、学費面の支援を行うことで、多くの学びの機会を提供できることが分かり、本学が考えている奨学金の有効性を裏付けることが出来たと言える。

また、経営・管理職に対して、本専門職大学院の構想に対するフリーアンサーのコメントをお願いしたところ、「今の時代に求められる専門職大学院だと思う」「社員の通学を検討したい」「このような大学院の設置は、管理職や起業家にとっても有益な機会になる」「将来の管理職候補に入学を勧めたい」といった期待感を込めた回答が多く寄せられていることも、ますます本専門職大学院の設置が時宜を得ていることの査証となっている。（【資料9-e②、e③】のフリーアンサーを参照）

## オ. 学生確保に向けた具体的な取り組みと見込まれる効果

### ①関連団体へのヒアリングと説明

#### ・東京都高齢者福祉施設協議会

同会の会長 田中雅恵氏に対するヒアリングの結果、福祉団体における労働力の確保、待遇の改善、キャリア形成の重要性などが明らかとなった。本学の専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科」の計画を説明した結果、本学理事長に対して「要望書」を頂戴するに至り、本学の取り組みへの理解と支援、そして広報に対する応援を頂戴できることとなった【資料13】

#### ・文京区（区長ならびに福祉部、保健所）

本学は、文京区の地で約100年にわたり継続して教育活動を行い、地元行政との良好な関係を構築・維持してきている。

本学理事長や本研究科設置準備員会メンバーが、成澤廣修区長を訪問し、本研究科の構想を説明した際、地元行政としての支援を申し出て下さり、その結果、教育課程連携協議会の構成員にご就任いただく承諾も頂戴した。

本学では、地元の保健衛生行政にも積極的に協力をしてきており、今般の新型コロナウイルスのワクチン接種においては、いち早く高齢者向けの集団接種会場として学内施設を提供し、多くの区民の接種を実現することの一助となった。また学内でも2度の職域接種を企画し、区役所保健部や文京保健所と連携をし、医師や看護師の資格を持つ教員と職員が担い手となることで、延べ約1800名の学生・教職員・地域住民へのワクチン接種を実現した。

これらのこともあり、2023年2月7日に成澤区長の訪問を受け感謝状を贈呈いただくなど、自治体との連携も良好であり、本研究科の開設後も様々な協力体制を築くことが可能と言える。

## ②関連する施設・団体などへの個別訪問

- ・TMGグループ（戸田市）

埼玉県戸田市を中心に地域医療を推進する本グループに、本研究科の構想を説明するため2022年12月5日に訪問をした。中村理事長をはじめ10名の幹部の方々に構想を説明する機会を得た。

その場では、医師・看護師はもとより、理学療法士・作業療法士・臨床検査技師・ケアマネージャーなどの医療職に対しての教育研修に力を入れていることや、同グループが展開している福祉分野（特に老人介護系の事業）における人材確保の難しさなどに関する課題を伺った。今回のアンケート調査でも多くの職員への告知を行っていただくなど、大きな理解を頂戴することが出来た。

## ③ ニュースリリースの発信と広報活動

一般のアンケート調査を実施することを通じてパンフレットを配布させて頂いたことで、本研究科の構想をご理解いただく場にもなった。今後、設置申請を提出した後については、本研究科の設置に向けた取り組みをニュースリリース等を発信することにより、多くの関係者の目に触れるような活動を実施し、学生の確保に向けた取り組みを強化していきたい。

## ④ シンポジウム等の開催

今回の新研究科設置に向けた取り組みの中で、多くの課題を発見することが出来た。また、関係者からの生の声も伺う事が出来た。これらにより、福祉医療分野が抱える諸問題の解決や新たな取り組みなどを紹介するシンポジウムを企画していきたいと考えている。アドバイザーボードに就任いただく方々の中から、パネリストやモデレーター役を申し出て下さる方もおり、是非とも実現していきたいと考えている。これにより、本研究科への関心度や期待感も高まっていくものと考えている。

## （2） 人材需要の動向等社会の要請

### ア. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

少子高齢化の進展が確実な日本において、今後ますます福祉医療分野に従事する人員が不足することが明白となっている。（厚生労働白書 令和4年版【資料5】）このような状況の中、これらの職種の就業者のキャリアプランの構築には、待遇改善や人員の充足が必要となってくる。この課題解決に向けて、既存の経営学を学ぶ専門職大学院と一線を画す、福祉医療分野に係わる社会人を中心とした専門職大学院の設置が重要と考えるに至ったのである。

本研究科は、福祉医療分野の専門職や管理職が、経営学の基礎から応用までを学び、福祉医療分野のチームや組織をけん引する人材を養成するために設置を目指す専門職大学院となる。

福祉医療分野の専門職が経営学を学ぶことで、実践的な思考や多面的な分析、問題解決力を高め、経営管理能力も高めることになる。様々な福祉医療分野の従事者がお互いの課題を共有し、経営学の共通語を手に入れることで、結果として多職種連携を促進させることにつながる。

また、働きながらの学びを推進するために、仕事終わりの平日夜や土曜を中心に開講し、社会人でも学びやすい環境を整える。「ビジネスプラン」や「課題プロジェクト研究」といった実践的な問題解決力を身につける必修科目を中心に据え、経営学の基礎的科目と、福祉医療分野の実践・応用科目をバランスよく履修して、福祉医療マネジメント修士（専門職）の学位を取得できる。

#### イ. 上記ア. が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

少子高齢化が進む日本において、ますます重要性が高まる福祉医療分野の専門職。しかしながらこれらの職種の人員は 2040 年には 96 万人も不足するという報告が厚生労働から出された（令和 4 年度の厚生労働白書【資料 5】）。これまでの福祉医療分野に従事するメンバーは、専門職としてのスキルを OJT などで高める一方で、チームや組織をマネジメントすることを学ぶ機会はほとんど無かった。福祉医療マネジメント研究科では、経営学を基礎から学び、福祉医療分野の現場をけん引する人材を養成し、各自のキャリア開発支援に繋げ、福祉医療分野の専門職を、より魅力的な職種に進化させることが出来ると考えている。

2022 年 11 月～12 月に実施した本学のアンケート調査の「経営・管理職向け」の質問項目に、福祉施設や医療施設で働くメンバーへの学びへの支援や、本研究科で学んだ修了生の採用意向も聞いている。【資料 8 - e】

問 1 6 職員が本大学院への入学を希望した場合、その学びを支援しますか？

質問への選択肢（複数選択可）	人	%
勤務時間を調整・配慮するなど積極支援	152	46.3
金銭的な支給も行って積極支援	47	14.3
特別な配慮はしないが支援する	122	37.2
入学は認めるが特別な支援はしない	33	10.1
仕事に支障があるので入学は認めない	3	0.9
海外人材に育成に活用したい	14	4.3
わからない	48	14.6
合 計（回答者数）	328	

学びの支援をするかについては、「支援しない」「入学は認めない」「わからない」を単純に合計しても 25.6%にしかならず、大多数は何らかの「支援をする」と考えていることがわかる。

問18 本研究科の修了生を採用することに興味がありますか？

質問への選択肢（複数選択可）	人	%
是非とも採用したい	49	14.9
採用を検討したい	155	47.3
わからない	120	36.6
採用は考えない	13	4.0
職場の職員に入学を勧めるので採用はしない	5	1.5
合 計（回答者数）	328	

採用意向については、「是非とも採用したい」が49名と入学定員の50名を若干下回る結果となったが、本研究科の修了生は、従来の勤務先でのキャリアを継続するケースが多いと推測されるため全く問題は無い。それよりも「是非とも採用したい」と「採用を検討したい」の合計が62.2%と過半数を大きく超える結果となったことから、本研究科を修了しマネジメントの知識や能力を身につけた人材として、さらなるキャリアアップや転職の可能性を感じさせる結果となった。

以上より、本研究科の設置は、福祉医療分野がこれから直面する人材不足と、待遇の改善を解消するために必要な、高度専門職人材等の育成につながる研究科の設置という事ができる。

以上



文京学院大学大学院  
福祉医療マネジメント研究科（専門職大学院）  
学生確保の見通し等を記載した書類  
＜資料編＞

目 次

資料1	東京23区の診療機関の医師数など	2
資料2	文京区内の福祉医療関係施設一覧	3
資料3	産業別就業者数など（総務省働力調査 2022年12月）	4
資料4	福祉医療分野の賃金の状況（厚生労働白書）	5
資料5	福祉医療分野の人員不足（厚生労働白書）	6
資料6	福祉医療分野の課題解決取り組み事例（厚生労働白書 概況）	7
資料7	事前調査アンケート（2021年実施の抜粋）	8
資料8	アンケート内容（5つの対象別）	9
資料9	アンケート集計（5つの対象別）	14
資料10	パンフレット（構想中）	21
資料11	社会科学系・保健系大学院における志願倍率と入学者数の経年推移	24
資料12	競合他大学院の専門職大学院課程・修士課程における定員充足状況	25
資料13	東京都高齢者福祉施設協議会からの「要望書」	26

## 東京23区の医療機関の医師数など

	医療機関の医師		医療機関		国勢調査人口 (2020)		人口1万人当たりの 医師数	
	人数	順位	数	順位	人口	順位	人	順位
新宿区	4,190	1	1,204	6	349,385	13	119.9	3
文京区	3,701	2	674	20	240,069	19	154.2	2
港区	2,978	3	1,387	3	260,486	17	114.3	4
板橋区	2,546	4	1,022	12	584,483	7	43.6	7
世田谷区	2,288	5	2,076	1	943,664	1	24.2	15
大田区	1,965	6	1,533	2	748,081	3	26.3	13
中央区	1,636	7	1,062	8	169,179	22	96.7	5
品川区	1,635	8	1,031	11	422,488	10	38.7	8
千代田区	1,473	9	856	16	66,680	23	220.9	1
江東区	1,473	10	955	13	524,310	8	28.1	11
足立区	1,381	11	1,163	7	695,043	4	19.9	19
渋谷区	1,362	12	1,052	9	243,883	18	55.8	6
練馬区	1,174	13	1,348	4	752,608	2	15.6	22
目黒区	1,107	14	753	17	288,088	14	38.4	9
杉並区	1,088	15	1,211	5	591,108	6	18.4	20
葛飾区	984	16	895	15	453,093	9	21.7	17
江戸川区	968	17	1,046	10	697,932	5	13.9	23
北区	836	18	705	19	355,213	11	23.5	16
豊島区	783	19	930	14	301,599	16	26.0	10
墨田区	769	20	560	22	272,085	15	28.3	12
中野区	684	21	722	18	344,880	12	19.8	18
台東区	492	22	613	21	211,444	21	23.3	14
荒川区	344	23	426	23	217,475	20	15.8	21

(出典：日本医師会「地域医療システムJMAP」から抽出)

文京区内の福祉医療関係施設一覧（文京区ホームページ「施設一覧（地図で探す）」などより抜粋）

https://www.city.bunkyo.lg.jp/shisetsu/map2/map12.html

<保健施設：13>

<b>保健所等：4</b>	<b>病院：9</b>
文京保健所	東京健生病院
保健サービスセンター	順天堂大学医学部附属順天堂医院
保健サービスセンター 本郷支所	慈愛病院
健康センター	東京大学医学部附属病院
	東京医科歯科大学医学部附属病院
	東京医科歯科大学歯学部附属病院
	東都文京病院
	日本医科大学付属病院
	駒込病院

<福祉施設：29>

<b>特別養護老人ホーム：4</b>	<b>福祉施設：9</b>
文京くすのきの郷	文京総合福祉センター
文京白山の郷	文京福祉センター江戸川橋
文京千駄木の郷	文京福祉センター湯島
ゆしまの郷	本郷福祉センター
洛和ヴィラ文京春日	大塚福祉作業所
	小石川福祉作業所
	文京区障害者就労支援センター
	障害者基幹相談支援センター
	障害者支援施設リアン文京

<保育園・こども園・一時預かり：82>

<b>区立認可保育園：19</b>	<b>私立認可保育園：46</b>
藍染保育園	慈愛会保育園
青柳保育園	たんぼぼ保育園
大塚保育園	たんぼぼ分園
こひなた保育園	たんぼぼ第二分園
駒込保育園	たんぼぼ第三分園
さしがや保育園	たんぼぼ第四分園
しおみ保育園	どんぐり保育園
水道保育園	キッズソフィア・白山保育園
千石保育園	八千代保育園
千石西保育園	まなびの森保育園茗荷谷
根津保育園	こころの保育園文京西片
久堅保育園	小学館アカデミー小石川保育園
本郷保育園	損保ジャパン日本興亜
本駒込保育園	スマイルキッズ江戸川橋保育園
本駒込西保育園	白山ひかり保育園
本駒込南保育園	小学館アカデミー茗荷谷保育園
向丘保育園	グローバルキッズ後楽二丁目園
目白台保育園	グローバルキッズ後楽二丁目分園
柳町保育園	アスク本駒込保育園
	ベネッセかごまち保育園
	ベネッセ千石保育園
<b>認定こども園：1</b>	キッズガーデン文京春日保育園
お茶の水女子大学こども園	グローバルキッズ新大塚園
	ポピンズナーサリースクール千駄木

<児童館・育成室・子育てひろば・中高向け：49>

<b>児童館：16</b>	<b>育成室</b>	<b>小学校にある育成室：11</b>	<b>そのほかの施設にある育成室：21</b>	<b>中学生向け施設：1</b>
大塚児童館	指ヶ谷育成室（指ヶ谷小）		柳町育成室	子育てひろば西片
しおみ児童館	汐見育成室（汐見小）		柳町第二育成室	子育てひろば汐見
千石児童館	柳町第三育成室（柳町小）		駕籠町育成室	子育てひろば江戸川橋
水道児童館	千駄木育成室（千駄木小）		神明育成室	子育てひろば水道
本駒込児童館	窪町育成室（窪町小）		向丘育成室（向丘保育園敷地内）	子育てひろば千石
本駒込南児童館	本郷第二育成室（本郷小）		第三中学校育成室	こまびよのおうち
久堅児童館	本郷第三育成室（本郷小）		茗台育成室	
柳町児童館	駒本育成室（駒本小）		文林中学校育成室	
千石西児童館	大塚小学校育成室（大塚小）		誠之育成室	
小日向台児童館	駕籠町小学校育成室（駕籠町小）		音羽育成室	
目白台児童館	湯島小学校育成室（湯島小）		誠之第二育成室	
湯島児童館			文林中学校第二育成室	
白山東児童館			根津第二育成室	
根津児童館			根津第三育成室	
目白台第二児童館			茗台臨時育成室	
本郷児童館				

※児童館には育成室が併設されています(柳町児童館を除く)。

<診療所：278>

278施設の記載は省略
文京区ホームページ「診療所」参照
https://www.city.bunkyo.lg.jp/hoken/iryu/shisetsu/sinryouyosin.html

<幼稚園：27>

<b>区立幼稚園：10</b>	<b>私立幼稚園：15</b>	<b>国立幼稚園：2</b>
第一幼稚園	福寿幼稚園	東京学芸大学教育学部附属幼稚園竹早園舎
柳町こどもの森（柳町幼稚園）	明照幼稚園	お茶の水女子大学附属幼稚園
明化幼稚園	愛星幼稚園	
青柳幼稚園	彰栄幼稚園	
根津幼稚園	共立大日坂幼稚園	
小日向台幼稚園	貞静幼稚園	
本駒込幼稚園	音羽幼稚園	
千駄木幼稚園	聖園幼稚園	
後楽幼稚園	日本女子大学附属豊明幼稚園	
湯島幼稚園	同仁美登里幼稚園	
	弓町本郷幼稚園	
	中央会堂幼稚園	
	文京学院大学文京幼稚園	
	京北幼稚園	
	大和郷幼稚園	

<小・中・高等学校：76>

<b>区立小学校：20</b>	<b>区立以外の小学校：4</b>	<b>区立中学校：10</b>	<b>区立以外の中学校：18</b>	<b>高校：24</b>
礪川小学校	筑波大学附属小学校	第一中学校	東京学芸大学附属竹早中学校	筑波大学附属高等学校
柳町小学校	東京学芸大学附属竹早小学校	第三中学校	筑波大学附属中学校	お茶の水女子大学附属高等学校
指ヶ谷小学校	お茶の水女子大学附属小学校	第六中学校	お茶の水女子大学附属中学校	都立竹早高等学校
林町小学校	日本女子大学附属豊明小学校	第八中学校	淑徳SC 中等部	都立工芸高等学校
明化小学校		第九中学校	京華中学校	都立向丘高等学校
青柳小学校		第十中学校	京華女子中学校	中央大学高等学校
関口台町小学校		文林中学校	東洋大学京北中学校	淑徳SC 高等部
小日向台小学校		茗台中学校	貞静学園中学校	京華高等学校
		本郷台中学校	跡見学園中学校	京華商業高等学校
		音羽中学校	東邦音楽大学附属東邦中学校	京華女子高等学校
			日本大学豊山中学校	東洋女子高等学校
			獨協中学校	貞静学園高等学校
			桜蔭中学校	跡見学園高等学校
			郁文館中学校	東邦音楽大学附属東邦高等学
			駒込中学校	東洋大学京北高等学校
			文京学院大学女子中学校	日本大学豊山高等学校
			広尾学園小石川中学校	獨協高等学校
			都立小石川中等教育学校	昭和第一高等学校
				桜蔭高等学校
				郁文館高等学校
				郁文館グローバル高等学校
				駒込高等学校
				広尾学園小石川
				文京学院大学女子高等学校

<大学・特別支援学校:22>

<b>区内の大学・短期大学：19</b>	<b>特別支援学校：3</b>
跡見学園女子大学	筑波大学附属大塚特別支援学校
お茶の水女子大学	筑波大学附属視覚特別支援学校
国際仏教学大学院大学	都立文京盲学校
順天堂大学	
拓殖大学	
中央大学（理工学部）	
筑波大学（付属学校教育局）	
貞静学園短期大学	
東京大学	
東京医科歯科大学	
東邦音楽大学・東邦音楽短期大学	
東洋大学	
東洋学園大学	
日本医科大学	
日本社会事業大学	
日本女子大学	
日本薬科大学(お茶の水キャンパス)	
文京学院大学	
放送大学東京文京学習センター	

【資料2】

第1表 就業状態別15歳以上人口、産業別就業者数、完全失業者数  
2022年12月 (万人)

一 原 数 値 一 〔人 口〕	男 女 計			男			女		
	実 数	対前年同月(※)		実 数	対前年同月(※)		実 数	対前年同月(※)	
		増 減	増減率 (%)		増 減	増減率 (%)		増 減	増減率 (%)
15 歳 以 上 人 口	11032	-39	-0.4	5326	-18	-0.3	5707	-20	-0.3
15 ～ 64 歳	7411	-38	-0.5	3755	-16	-0.4	3657	-20	-0.5
〔就 業 状 態〕									
勞 働 力 人 口	6875	-4	-0.1	3787	-23	-0.6	3087	18	0.6
15 ～ 64 歳	5955	-4	-0.1	3247	-15	-0.5	2709	12	0.4
就 業 者	6716	10	0.1	3691	-15	-0.4	3025	25	0.8
15 ～ 64 歳	5809	7	0.1	3159	-11	-0.3	2650	18	0.7
自 営 業 主	499	-11	-2.2	362	-12	-3.2	137	0	0.0
家 族 従 業 者	122	-9	-6.9	25	-1	-3.8	97	-8	-7.6
雇 用 者	6055	26	0.4	3281	-4	-0.1	2775	31	1.1
完 全 失 業 者	158	-15	-8.7	96	-8	-7.7	62	-7	-10.1
15 ～ 64 歳	147	-10	-6.4	87	-5	-5.4	59	-6	-9.2
非 勞 働 力 人 口	4150	-34	-0.8	1534	4	0.3	2615	-38	-1.4
15 ～ 64 歳	1449	-34	-2.3	505	-1	-0.2	945	-32	-3.3
〔雇 用 形 態 別 雇 用 者〕									
正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	3571	-4	-0.1	2344	-12	-0.5	1227	8	0.7
非 正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	2144	35	1.7	679	13	2.0	1465	23	1.6
パ ー ト ー	1044	24	2.4	126	6	5.0	918	18	2.0
ア ー バ イ ト	468	-1	-0.2	231	4	1.8	237	-4	-1.7
勞 働 者 派 遣 事 業 所 の 派 遣 社 員	153	1	0.7	62	3	5.1	91	-1	-1.1
契 約 社 員	285	7	2.5	151	1	0.7	134	6	4.7
嘱 託	111	3	2.8	72	3	4.3	39	0	0.0
そ の 他	82	-1	-1.2	37	-4	-9.8	45	3	7.1
〔主 な 産 業 別 就 業 者〕									
農 業	167	-4	-2.3	102	-5	-4.7	65	1	1.6
建 設	473	8	1.7	394	6	1.5	79	2	2.6
製 造 業	1046	-14	-1.3	734	-12	-1.6	312	-2	-0.6
情 報 通 信 業	269	-5	-1.8	196	-5	-2.5	73	-1	-1.4
運 輸 業 , 郵 便 業	354	-3	-0.8	273	-5	-1.8	81	3	3.8
卸 売 業 , 小 売 業	1052	-8	-0.8	496	-8	-1.6	557	2	0.4
金 融 業 , 保 険 業	174	-5	-2.8	82	-3	-3.5	92	-1	-1.1
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	130	-15	-10.3	75	-10	-11.8	55	-6	-9.8
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サービス 業	256	8	3.2	163	7	4.5	93	1	1.1
宿 泊 業 , 飲 食 サービス 業	396	11	2.9	151	7	4.9	245	4	1.7
生 活 関 連 サービス 業 , 娯 楽 業	222	-1	-0.4	87	5	6.1	136	-5	-3.5
教 育 , 学 習 支 援 業	337	-8	-2.3	138	-5	-3.5	199	-4	-2.0
医 療 , 福 祉	892	-2	-0.2	222	-2	-0.9	670	0	0.0
サービス業(他に分類されないもの)	462	10	2.2	273	2	0.7	189	8	4.4
公 務	256	18	7.6	170	8	4.9	86	10	13.2
〔求 職 理 由 別 完 全 失 業 者〕									
定 年 又 は 雇 用 契 約 の 満 了	14	-6	-30.0	11	-3	-21.4	3	-3	*
勤 め 先 や 事 業 の 都 合	23	-8	-25.8	17	-2	-10.5	7	-5	-41.7
自 発 的 な 離 職 (自 己 都 合)	64	-1	-1.5	32	-6	-15.8	32	5	18.5
学 卒 未 就 職	6	0	*	4	0	*	2	0	*
収 入 を 得 る 必 要 が 生 じ た か ら	25	-1	-3.8	16	2	14.3	9	-3	-25.0
そ の 他	13	0	0.0	8	0	*	5	1	*
〔完 全 失 業 率 (%、ポ イ ン ト)〕									
総 数	2.3	-0.2	...	2.5	-0.2	...	2.0	-0.2	...
15 ～ 64 歳	2.5	-0.1	...	2.7	-0.1	...	2.2	-0.2	...
〔勞 働 力 人 口 比 率 (%、ポ イ ン ト)〕									
総 数	62.3	0.4	...	71.1	0.0	...	54.1	0.7	...
15 ～ 64 歳	80.4	0.4	...	86.5	0.0	...	74.1	0.8	...
〔就 業 率 (%、ポ イ ン ト)〕									
総 数	60.9	0.5	...	69.3	0.1	...	53.0	0.8	...
15 ～ 64 歳	78.4	0.5	...	84.1	0.1	...	72.5	1.0	...
一 季 節 調 整 値 一									
〔就 業 状 態〕									
勞 働 力 人 口	6891	8	0.1	3795	13	0.3	3096	-7	-0.2
就 業 者	6719	6	0.1	3693	14	0.4	3028	-7	-0.2
雇 用 者	6041	8	0.1	3274	8	0.2	2768	1	0.0
完 全 失 業 者	171	-2	-1.2	103	-1	-1.0	67	-2	-2.9
非 勞 働 力 人 口	4139	-2	-0.0	1527	-12	-0.8	2609	8	0.3
〔完 全 失 業 率 (%、ポ イ ン ト)〕									
総 数	2.5	0.0	...	2.7	-0.1	...	2.2	0.0	...
15 ～ 64 歳	2.6	0.0	...	2.8	-0.1	...	2.4	0.1	...
15 ～ 24 歳	4.7	-0.6	...	4.7	-2.2	...	3.9	0.3	...
25 ～ 34 歳	2.9	-0.2	...	2.9	0.0	...	3.2	0.0	...
35 ～ 44 歳	2.4	0.1	...	2.9	0.3	...	1.9	-0.1	...
45 ～ 54 歳	2.0	0.1	...	2.1	-0.2	...	2.0	0.5	...
55 ～ 64 歳	2.5	0.1	...	2.9	0.5	...	1.9	-0.5	...
65 歳 以 上	1.6	0.0	...	...	...	...	...	...	...

注) 各項目 (比率を除く。)の原数値に係る対前年同月増減については、新基準で週及集計した数値と比較している。  
また、季節調整値 (完全失業率を除く。)に係る対前月増減についても、新基準で週及集計した数値と比較している。  
(※)季節調整値は対前月

## 福祉医療分野の賃金の状況

【資料 4】

令和 4 年版 厚生労働白書 (P46、P50) より 図表 1-2-47、図表 1-2-52

**図表 1-2-47 介護人材の賃金の状況 (一般労働者、男女計)**

産業別		平均年齢 (歳)	勤続年数 (年)	賞与込み給与 (万円)
	産業計	42.2	10.3	35.5
職種別	医師	41.0	5.8	95.0
	看護師	39.9	8.0	39.9
	准看護師	50.2	11.3	33.4
	理学療法士、作業療法士、 言語聴覚士、視能訓練士	33.7	6.3	33.8
	介護支援専門員(ケアマネジャー)	50.9	9.0	32.1
	介護職員 【(C)と(D)の加重平均】	43.8	7.0	28.5
	訪問介護従事者(C)	46.4	6.7	29.3
	介護職員(医療・福祉施設等)(D)	43.6	7.0	28.4

資料：厚生労働省政策統括官(統計・情報政策、労使関係担当)「令和3年賃金構造基本統計調査」により厚生労働省老健局老人保健課において作成。

(注) 一般労働者とは、「短時間労働者」以外の者をいう。短時間労働者とは、1日の所定労働時間が一般の労働者よりも短い者、又は1日の所定労働時間が一般の労働者と同じでも1週の所定労働日数が一般の労働者よりも少ない者をいう。「賞与込み給与」は、「きまって支給する現金給与額(労働協約、就業規則等によってあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される現金給与額)」に、「年間賞與其他特別給与額(前年1年間(原則として1月から12月までの1年間)における賞与、期末手当等特別給与額(いわゆるボーナス))」の1/12を加えて算出した額。「介護職員(医療・福祉施設等)」は、医療施設・福祉施設等において入所者及び通所者に対する入浴、排せつ、食事等の介護の仕事に従事するものをいう。なお、特定処遇改善加算の(Ⅰ)～(Ⅱ)を取得している事業所の勤続10年以上介護福祉士の賞与込み給与は、35.5万円(令和3年度介護従事者処遇状況等調査)。産業別賃金は「10人以上規模企業における役職者」を除いて算出。なお、職種別賃金には役職者は含まれていない。役職者を含む産業計は、平均年齢43.4歳、勤続年数12.3年、賞与込み給与40.8万円。

**図表 1-2-52 障害福祉分野の福祉・介護職員の賃金の状況 (一般労働者、男女計)**

産業別		平均年齢 (歳)	勤続年数 (年)	賞与込み給与 (万円)
	産業計	42.1	10.0	35.2
職種別	医師	41.1	5.0	100.8
	看護師	40.0	7.7	39.4
	准看護師	49.8	11.8	34.0
	理学療法士、作業療法士、 言語聴覚士、視能訓練士	32.9	5.7	33.4
	介護支援専門員(ケアマネジャー)	49.9	9.3	32.0
	障害福祉関係分野の職員 【(A)・(B)・(C)の加重平均】	42.1	7.0	29.5
	保育士(A)	36.7	7.2	30.3
	訪問介護従事者(B)	49.3	7.2	28.5
介護職員(医療・福祉施設等)(C)	42.8	6.9	29.3	

資料：厚生労働省政策統括官(統計・情報政策、労使関係担当)「令和2年賃金構造基本統計調査」により、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課において作成。

(注) 一般労働者とは、「短時間労働者」以外の者をいう。短時間労働者とは、1日の所定労働時間が一般の労働者よりも短い者、又は1日の所定労働時間が一般の労働者と同じでも1週の所定労働日数が一般の労働者よりも少ない者をいう。「賞与込み給与」は、「きまって支給する現金給与額(労働協約、就業規則などによってあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給された現金給与額)」に、「年間賞與其他特別給与額(前年1年間(原則として1月から12月までの1年間)における賞与、期末手当等特別給与額(いわゆるボーナス))」の1/12を加えて算出した額。産業別(産業計)賃金は「100人以上規模企業における役職者」を除いて算出。なお、職種別賃金には役職者は含まれていない。



## 福祉医療分野の人員不足

令和 4 年版 厚生労働白書 7 ページ (人材の確保)

## 第 1 部 社会保障を支える人材の確保

**(経済成長と労働参加が進むと仮定するケースでも 2040 (令和 22) 年には医療・福祉分野の就業者数が 96 万人不足する見込み)**

厚生労働省職業安定局「雇用政策研究会報告書」(2019 (令和元) 年 7 月)によれば、今後の就業者数については、経済成長と労働参加が進むと仮定するケース<sup>\*3</sup>では、2040 (令和 22) 年に 6,024 万人となると推計されている。2021 年現在の 6,713 万人から減少するものの、2040 年は大幅な人口減少下にあることに鑑みればその減少は相当程度抑えられているといえる。この経済成長と労働参加が進むと仮定するケースでは、医療・福祉分野の就業者数は 974 万人 (総就業者数の 16%) と推計されている。他方、医療・介護サービスの 2018 (平成 30) 年の年齢別利用実績を基に、人口構造の変化を加味して求めた 2040 年の医療・介護サービスの需要から推計した医療・福祉分野の就業者数は 1,070 万人 (総就業者数の 18~20%) が必要となると推計されており、96 万人の差が生じている (図表 1-1-6)。

## 第 1 章

社会保障を支える人材を取り巻く状況

図表 1-1-6 医療・福祉分野の就業者数の見通し

	2018 年	2025 年	2040 年	
	【実績】	【実績・人口構造を踏まえた必要人員】	【実績・人口構造を踏まえた必要人員】	【経済成長と労働参加が進むケース】
医療福祉分野の就業者数 (カッコ内は総就業者数に占める割合)	826 万人 (12%)	940 万人 (14~15%)	1,070 万人 (18~20%)	974 万人 (16%)

資料：「2040 年を見据えた社会保障の将来見通し (議論素材)」に基づくマンパワーシミュレーション (2019 年 5 月厚生労働省) を基に作成。

## (小括)

急速な少子高齢化の中でも、女性や高齢者の就業率の上昇により、就業者数は人口減少が始まった 2008 (平成 20) 年以前の水準を維持している。今後、現役世代の人口が急減する中で、活力ある経済の維持を考えると女性、高齢者等をはじめとした一層の労働参加が不可欠であるといえる。また、社会保障の担い手である医療・福祉分野の就業者数は急速に増加しており、引き続き 2040 (令和 22) 年に向けて、更に担い手が必要となることが見込まれている。

第 2 節では、医療・福祉分野の人材の確保について、個別具体的にこれまでの取組成果を見ていく。

# 福祉医療分野の課題解決取り組み事例

【資料6】

令和4年版 厚生労働白書（概要版 5ページ）取組事例

## 4. 具体的な取組み例



## 【資料7】

2021年4月に実施した、本研究科設置準備のために実施した事前調査アンケート（抜粋）

1. あなたのお仕事が、各種団体の組織運営の最高責任者（理事長や事務長など最高意思決定者として権限と責任を有する方）の場合、「はい」を選んでください。

1. はい	58	13.3%
2. いいえ	379	86.7%

<非管理職に>

9. ご自身の仕事を有効かつ効率的に遂行するだけでなく、人材育成や組織運営効率を高めるために、経営学を初歩から学ぶ大学院（MBA）があれば、学習してみたいですか？

1. 是非とも学びたい	63	16.8%
2. 学んでみたい	180	47.9%
3. 学びたくない	85	22.6%
4. その他	48	12.8%

10. 上の質問で「3. 学びたくない」「4. その他」を選択した方に質問です。

回答の理由は、以下のいずれでしょうか？（複数回答可）

1. すでに経営学を学んでいる	13	9.8%
2. 時間がない	79	59.4%
3. 金銭的余裕がない	63	47.4%
4. 興味がない	58	43.6%
5. その他	11	48.3%

回答者は133名

15. 大学院に関心のある方にお尋ねします。

支払い可能な授業料は次のうちどれでしょうか？

1. 30万円程度	161	49.2%
2. 50万円程度	94	28.7%
3. 75万円程度	31	9.5%
4. 100万円程度	21	6.4%
5. 125万円程度	0	0.0%
6. 150万円程度	3	0.9%
7. その他	17	5.2%

<経営管理職に>

26. 大学院に関心のある経営者・管理者の方にお尋ねします。

あなたが通う意場合、支払い可能な授業料はいくらですか？

1. 50万円程度	26	45.6%
2. 75万円程度	12	21.1%
3. 100万円程度	10	17.5%
4. 125万円程度	4	7.0%
5. 150万円程度	0	0%
6. 200万円程度	1	1.8%
7. その他	4	7.0%



## 文京学院大学専門職大学院

## 福祉医療マネジメント研究科（仮称・設置構想中）設置に関するアンケート

保健・人間学部の  
在学生向け

文京学院大学では、2024年春に専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科(仮称)」の設置を構想中です。このアンケートでは、この専門職大学院の内容をご確認いただき、いくつかの質問にお答えいただけます。入学意向も含め、設置にあたっての基礎資料とするものです。

なお、このアンケートの結果は、コンピューターにより処理され、統計資料としてのみ用い、個人情報などを外部の人に見せたりすることはありません。

回答は、設問の順に該当する番号を選択してください（一部、複数回答可、自由記入欄があります）

内容は構想中のもので、一部変更になる場合があります。

それではご協力をお願いします。

1 まずは、現在構想中の「文京学院大学 専門職大学院 医療福祉マネジメント研究科（仮称）」の内容をご説明した、2枚のパンフレットをご覧頂き以下の質問にお答えください。必要に応じ回答途中でもパンフレットをご確認下さい。

2 あなたが文京学院大学の何年生ですか？

1 3年生                      2 4年生                      3 その他

3 あなたが在籍している学科は、以下のどれですか？

保健医療技術学部    1. 理学療法学科    2. 作業療法学科    3. 臨床検査学科    4. 看護学科  
人間学部              5. 児童発達学科    6. 心理学科        7. コミュニケーション社会学科  
8. 人間福祉学科    9. その他

4 あなたが将来目指そうと思っているお仕事は、以下のどれですか？（複数選択可）

1 介護・福祉関係の専門職\*1  
2 医療関係の専門職\*2  
3 児童福祉関係の専門職\*3  
4 学校の先生\*4  
5 行政やNPO関連の職種\*5  
6 その他の専門職\*6  
7 事務職など専門職以外の仕事\*7

## 注) 仕事の分類について

- \*1 介護・福祉関係の専門職とは、高齢者・精神・身体障碍などを対象とした福祉施設に勤務する専門職の仕事
- \*2 医療関係の専門職とは、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・作業療法士・理学療法士などで、医療施設に勤務する仕事
- \*3 児童福祉関係の専門職とは、保育園・保育所・幼稚園・こども園などに勤務する専門職の仕事
- \*4 学校の先生とは、小学校・中学校・高校などに勤務する教師・教員の仕事
- \*5 行政やNPO関連の職種とは、対象となる方がどのカテゴリーであっても公務員・NPOなどに属する仕事
- \*6 1～5に分類できないが、専門職の資格を活かして行う仕事
- \*7 一般事務、営業、人事など一般企業への就職や、独立起業、その他1～6のどれにも当てはまらない仕事

5 上の質問で、6や7を選択した方で、具体的な仕事があれば、以下に記載してください。（自由記入欄）

6 あなたは、文京学院大学 専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科（仮称）のパンフレットを見て興味を持ったのは、どのような内容でしたか。いくつでも選んで構いません（複数回答）

- 1 福祉医療分野の専門職が経営学を学んでマネジメント力がつくこと
  - 2 様々な専門職と一緒に学ぶことで人脈形成が出来る
  - 3 充実した奨学金で、実質的な経済負担が年取の1割程度で学べること
  - 4 修士論文ではなく、「課題プロジェクト研究」で修士（専門職）の学位が取得できる
  - 5 社会人に合わせた、平日の夜や土曜日、夏期集中講座で受講できる
  - 6 オンライン授業やハイフレックス授業で、遠隔地からも受講ができる
  - 7 実務家教員から学ぶことが出来る
  - 8 地下鉄の駅から徒歩0分の立地
  - 9 福祉医療マネジメント研究科という今までにない専門職大学院が出来ること
- 

7 あなたはご自身が管理職になった時点を想像して、組織運営やチームをリードする際に、経営学やマネジメントの知識が必要になると感じますか？

- 1 必ず必要になると思う      2 たぶん必要だと思う      3 必要は無いと思う  
4 わからない
- 

8 大学を卒業して、学び直しの必要があるときに、母校（文京学院大学）に学びたい内容の専門職大学院があれば、そこで学びたいと思いますか？

- 1 必ず母校を選ぶと思う      2 選択肢として検討すると思う  
3 他の大学院を選ぶと思う    4 よくわからない
- 

9 ご自身の仕事を有効かつ効率的に遂行するだけでなく、人材育成や組織運営効率を高めるために、将来経営学を基礎から学ぶ大学院（MBA）があれば、学んでみたいですか？

- 1 是非とも学びたい              2 学んでみたい  
3 学びたくない                  4 その他
- 

10 この文京学院大学専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科（仮称）」が設置されたら、将来において入学したいと思いませんか？

- 1 管理職になったら入学したい
  - 2 管理職になる前の、準備段階で入学したい
  - 3 仕事を始めて、数年程度で入学したい
  - 4 大学を卒業したら、そのまま入学したい
  - 5 よくわからない
  - 6 入学したいとは思わない
- 

11 あなたは、春入学（4月初旬～）と秋入学（9月中旬～）が選べる場合、どのように考えますか？（複数選択可）

- 1 春入学が良いと思う
  - 2 秋入学が良いと思う
  - 3 わからない
  - 4 入学時期の選択肢は複数ある方が良い
- 

アンケートへのご協力ありがとうございました。

文京学院大学専門職大学院

福祉医療マネジメント研究科（仮称・設置構想中）設置に関するアンケート

卒業生の  
専門職（非管理職）向け

文京学院大学では、2024年春に専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科(仮称)」の設置を構想中です。このアンケートでは、この専門職大学院の内容をご確認いただき、いくつかの質問にお答えいただけます。入学意向も含め、設置にあたっての基礎資料とするものです。  
なお、このアンケートの結果は、コンピューターにより処理され、統計資料としてのみ用い、個人情報などを外部の人に見せたりすることはありません。  
回答は、設問の順に該当する番号を選択してください（一部、複数回答可、自由記入欄があります）  
内容は構想中のもので、一部変更になる場合があります。  
それではご協力をお願いします。

- 0-0 まずは、現在構想中の「文京学院大学 専門職大学院 医療福祉マネジメント研究科（仮称）」の内容をご説明した、2枚のパンフレットをご覧頂き以下の質問にお答えください。必要に応じ回答途中でもパンフレットをご確認下さい。
- 0-1 あなたが文京学院大学を卒業したのはいつですか？（西暦でお答えください）
- 0-2 あなたが卒業した学部・学科は、以下のどれですか？  
保健医療技術学部 1. 理学療法学科 2. 作業療法学科 3. 臨床検査学科 4. その他  
人間学部 5. 保育学科 6. 児童発達学科 7. 共生社会学科 8. コミュニケーション社会学科  
9. 人間福祉学科 10. 心理学科 11. その他
- 1 あなたのお仕事が、企業・団体等の組織運営の経営層（理事長や事務長など）や施設運営の決定権のある管理職の場合は、「はい」を選んでください。そのほかの方は「いいえ」を選んでください。  
1 はい ※「はい」の場合はQ7~14を回答  
2 いいえ ※「いいえ」の場合はQ2~6を回答
- 2 あなたの年齢についてお伺いします。  
1 20代 2 30代 3 40代 4 50歳以上
- 3 あなたのお仕事についてお伺いします。（複数選択可）  
1 介護・福祉関係の専門職\*1  
2 医療関係の専門職\*2  
3 児童福祉関係の専門職\*3  
4 学校の先生\*4  
5 行政やNPO関連の職種\*5  
6 事務職および管理職\*6  
7 その他\*7
- 注) 職種の種類について  
\*1 介護・福祉関係の専門職とは、高齢者・精神・身体障害などを対象とした福祉施設に勤務する専門職の方  
\*2 医療関係の専門職とは、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・作業療法士などで、医療施設に勤務する方  
\*3 児童福祉関係の専門職とは、保育園・保育所・幼稚園・こども園などに勤務する専門職の方  
\*4 学校の先生とは、小学校・中学校・高校などに勤務する教師・教員の方  
\*5 行政やNPO関連の職種とは、対象となる方がどのカテゴリーであっても公務員・NPOなどに属する方  
\*6 事務職および管理職とは、専門職の資格を保持している・いないに関わらず、事務職や経営職・経営者の方  
\*7 その他とは、上記のどれにも当てはまらない方
- 4 あなたが現在仕事（通学）をしているのは以下のどのエリアになりますか？(現在お仕事をしていない方はお住いのエリアを選んでください)  
1 東京都・埼玉・千葉・神奈川県（1都3県）  
2 上記以外の関東甲信越地方（群馬・栃木・茨城・山梨・長野・新潟）  
3 北海道 4 東北地方 5 中部地方 6 近畿地方  
7 中国地方 8 四国地方 9 九州地方 10 海外

- 5 あなたは、文京学院大学 専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科（仮称）のパンフレットを見て興味を持ったのは、どのような内容でしたか。いくつか選んで構いません（複数回答）  
1 福祉医療分野の専門職が経営学を学んでマネジメント力がつくこと  
2 様々な専門職と一緒に学ぶことで人脈形成が出来る  
3 充実した奨学金で、実質的な経済負担が年収の1割程度で学べること  
4 修士論文ではなく、「課題プロジェクト研究」で修士（専門職）の学位が取得できる  
5 社会人に合わせた、平日の夜や土曜日、夏期集中講座で受講できる  
6 オンライン授業やハイフレックス授業で、遠隔地からも受講ができる  
7 実務家教員から学ぶことが出来る  
8 地下鉄の駅から徒歩0分の立地  
9 福祉医療マネジメント研究科という今までにない専門職大学院が出来ること
- 6 あなたはご自身の専門的な知識や技術の他に、経営や管理(マネジメント)に関する知識や技術を求められていると思いますか？  
1 常に求められている 2 時々求められる 3 あまり求められない  
4 全く求められない 5 わからない
- 7 専門的な技術や知識を効率的に活かすために、経営学や組織マネジメントを学びたいと思ったことがありますか？  
1 常に考えている 2 時々考えている  
3 あまり考えていない 4 全く考えたことがない
- 8 ご自身の仕事を有効かつ効率的に遂行するだけでなく、人材育成や組織運営効率を高めるために、経営学を基礎から学ぶ大学院（MBA）があれば、学んでみたいですか？  
1 是非とも学びたい 2 学んでみたい  
3 学びたくない 4 その他
- 9 この文京学院大学専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科（仮称）」が間もなく設置されたら、入学したいと思いませんか？  
1 入学したい  
2 入学を検討する  
3 既にMBAを持っているので入学は考えない  
4 関心がない  
5 その他
- 10 あなたは、春入学（4月初旬～）と秋入学（9月中旬～）が選べる場合、どのように考えますか？（複数選択可）  
1 春入学が良い  
2 秋入学が良い  
3 わからない  
4 入学時期の選択肢はある方が良い

アンケートへのご協力ありがとうございました。

## 文京学院大学専門職大学院

## 福祉医療マネジメント研究科（仮称・設置構想中）設置に関するアンケート

卒業生の  
経営・管理職向け

文京学院大学では、2024年春に専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科(仮称)」の設置を構想中です。このアンケートでは、この専門職大学院の内容をご確認いただき、いくつかの質問にお答えいただけます。入学意向も含め、設置にあたっての基礎資料とするものです。

なお、このアンケートの結果は、コンピューターにより処理され、統計資料としてのみ用い、個人情報などを外部の人に見せたりすることはありません。

回答は、設問の順に該当する番号を選択してください（一部、複数回答可、自由記入欄があります）

内容は構想中のもので、一部変更になる場合があります。

それではご協力をお願いします。

- 0-0 まずは、現在構想中の「文京学院大学 専門職大学院 医療福祉マネジメント研究科（仮称）」の内容をご説明した、2枚のパンフレットをご覧ください。必要に応じて回答途中でもパンフレットをご確認下さい。
- 0-1 あなたが文京学院大学を卒業したのはいつですか？（西暦でお答えください）
- 0-2 あなたが卒業した学部・学科は、以下のどれですか？
- 保健医療技術学部 1. 理学療法学科 2. 作業療法学科 3. 臨床検査学科 4. その他  
人間学部 5. 保育学科 6. 児童発達学科 7. 共生社会学科 8. コミュニケーション社会学科  
9. 人間福祉学科 10. 心理学科 11. その他
- 1 あなたのお仕事、企業・団体等の組織運営の経営層（理事長や事務長など）や施設運営の決定権のある管理職の場合は、「はい」を選んでください。そのほかの方は「いいえ」を選んでください。
- 1 はい ※「はい」の場合はQ11～20を回答  
2 いいえ ※「いいえ」の場合はQ2～10を回答
- 11 あなたの年齢についてお伺いします。
- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50歳以上
- 12 あなたが現在仕事をしているのは以下のどのエリアになりますか？
- 1 東京都・埼玉・千葉・神奈川県（1都3県）  
2 上記以外の関東甲信越地方（群馬・栃木・茨城・山梨・長野・新潟）  
3 北海道 4 東北地方 5 中部地方 6 近畿地方  
7 中国地方 8 四国地方 9 九州地方 10 海外
- 13 あなたが経営もしくは勤務しているのは、以下のどの企業・団体・施設ですか？（複数回答可）
- 1 介護・福祉関係  
2 医療関係  
3 児童福祉関係（保育園・保育所・幼稚園・こども園など）  
4 学校・教育機関（小学校・中学校・高校など）  
5 行政やNPO  
6 その他
- 14 あなたは、文京学院大学 専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科（仮称）のパンフレットを見て興味を持ったのは、どのような内容でしたか。いくつでも選んでください（複数回答可）
- 1 福祉医療分野の専門職が経営学を学んでマネジメント力がつくこと  
2 様々な専門職と一緒に学ぶことで人脈形成が出来ること  
3 充実した奨学金で、実質的な経済負担が年収の1割程度で学べること  
4 修士論文ではなく、「課題プロジェクト研究」で修士（専門職）の学位が取得できること  
5 社会人に合わせた、平日の夜や土曜日、夏期集中講座で受講できること  
6 オンライン授業やハイフレックス授業で、遠隔地からも受講ができること  
7 実務家教員から学ぶことが出来ること  
8 地下鉄の駅から徒歩0分の立地  
9 福祉医療マネジメント研究科という今までにない専門職大学院が出来ること

- 15 あなたの所属する企業・団体・施設の職員（以下、職員）を大学院での学び直しに派遣するような制度はありますか？
- 1 既に大学院への派遣を実施している  
2 大学院ではないが、学び直しの場への派遣を行っている  
3 現在、制度の導入を検討中  
4 制度は無いが、個人的に勉強をしている職員はいる  
5 そのような制度は検討していない
- 16 職員が本大学院への入学を希望した場合、その学びを支援しますか？
- 1 勤務時間を調整・配慮するなどして積極的に支援する  
2 金銭的な支給も行って、積極的に支援する  
3 特別な配慮はしないが、支援する  
4 入学は認めるが、特別な配慮や支援はしない  
5 仕事に支障が生じるので、入学は認めない  
6 海外人材の育成に活用してみたい  
7 わからない
- 17 職員が本大学院に入学をすることで、春入学（4月初旬～）と秋入学（9月中旬～）を選ぶ場合、どちらを選ばせたいですか？（複数選択可）
- 1 春入学が良い  
2 秋入学が良い  
3 わからない  
4 入学時期の選択肢は複数ある方が良い
- 18 本学の福祉医療マネジメント研究科（仮称）の修生を採用することに興味がありますか？
- 1 是非とも採用したい  
2 採用を検討したい  
3 わからない  
4 採用は考えない  
5 現在の職員に本大学院の入学を勧めるつもりなので、新たには採用しない
- 19 この質問は、あなたご自身についてお聞きします。  
この文京学院大学専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科（仮称）」が間もなく設置されたら、入学したいと思いませんか？
- 1 入学したい  
2 入学を検討する  
3 既にMBAを持っているので入学は考えない  
4 関心がない  
5 その他
- 20 現在構想中の文京学院大学の専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科」に対する、ご意見や期待感など、以下にメッセージをお寄せください。（自由記入欄）

アンケートへのご協力ありがとうございました。

文京学院大学専門職大学院

専門職（非管理職）向け

福祉医療マネジメント研究科（仮称・設置構想中）設置に関するアンケート

このアンケート調査は、令和6年4月に設置を構想中の、文京学院大学の専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科 福祉医療マネジメント専攻（仮称・設置構想中）の概要をご確認いただき、その内容や入学意向等についてご意見をお聞きし、設置にあたっての基礎資料とするものです。ご協力をお願いします。  
また、本専門職大学院の受験において、4年制大学の卒業は必ずしも必要はありませんので、短大卒、専門学校卒の専門職の方も、内容をご確認の上、回答をお願いします。  
なお、このアンケートの結果は、コンピューターにより処理され、統計資料としてのみ用い、個人情報などを外部の人に見せたりすることはありません。  
回答は、設問の順に該当する番号を選択してください（一部、自由記入欄があります）  
内容は構想中のもので、一部変更になる場合があります。

0 まずは、現在構想中の「文京学院大学 専門職大学院 医療福祉マネジメント研究科（仮称）」の内容をご説明した、2枚のパンフレットをご覧頂き、以下の質問にお答えください。  
必要に応じて、回答の途中でもパンフレットをご確認ください。

1 あなたのお仕事が、企業・団体等の組織運営の経営層（理事長や事務長など）や施設運営の決定権のある管理職の場合は、「はい」を選んでください。そのほかの方は「いいえ」を選んでください。

- 1 はい ※「はい」の場合はQ7~14を回答  
2 いいえ ※「いいえ」の場合はQ2~6を回答

2 あなたの年齢についてお伺いします。

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50歳以上

3 あなたのお仕事についてお伺いします。（複数選択可）

- 1 介護・福祉関係の専門職\*1  
2 医療関係の専門職\*2  
3 児童福祉関係の専門職\*3  
4 学校の先生\*4  
5 行政やNPO関連の職種\*5  
6 事務職および管理職\*6  
7 その他\*7

注) 職種の分類について

- \*1 介護・福祉関係の専門職とは、高齢者・精神・身体障害などを対象とした福祉施設に勤務する専門職の方  
\*2 医療関係の専門職とは、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・作業療法士・理学療法士などで、医療施設に勤務する方  
\*3 児童福祉関係の専門職とは、保育園・保育所・幼稚園・こども園などに勤務する専門職の方  
\*4 学校の先生とは、小学校・中学校・高校などに勤務する教師・教員の方  
\*5 行政やNPO関連の職種とは、対象となる方がどのカテゴリーであっても公務員・NPOなどに属する方  
\*6 事務職および管理職とは、専門職の資格を保持している・いないに関わらず、事務職や経営職・経営者の方  
\*7 その他とは、上記のどれにも当てはまらない方

4 あなたが現在仕事をしているのは以下のどのエリアになりますか？（現在お仕事をしていない方はお住いのエリアを選んでください）

- 1 東京都・埼玉・千葉・神奈川県（1都3県）  
2 上記以外の関東甲信越地方（群馬・栃木・茨城・山梨・長野・新潟）  
3 北海道 4 東北地方 5 中部地方 6 近畿地方  
7 中国地方 8 四国地方 9 九州地方 10 海外

あなたは、文京学院大学 専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科（仮称）のパンフレットを見て興味を持ったのは、どのような内容でしたか。いくつでも選んで構いません（複数回答）

- 1 福祉医療分野の専門職が経営学を学んでマネジメント力がつくこと  
2 様々な専門職と一緒に学ぶことで人脈形成が出来る  
3 充実した奨学金で、実質的な経済負担が年収の1割程度で学べること  
4 修士論文ではなく、「課題プロジェクト研究」で修士（専門職）の学位が取得できる  
5 社会人に合わせた、平日の夜や土曜日、夏期集中講座で受講できる  
6 オンライン授業やハイフレックス授業で、遠隔地からも受講ができる  
7 実務家教員から学ぶことが出来る  
8 地下鉄の駅から徒歩0分の立地  
9 福祉医療マネジメント研究科という今までにない専門職大学院が出来ること

6 あなたはご自身の専門的な知識や技術の他に、経営や管理(マネジメント)に関する知識や技術を求められていると思いますか？

- 1 常に求められている 2 時々求められる 3 あまり求められない  
4 全く求められない 5 わからない

7 専門的な技術や知識を効率的に活かすために、経営学や組織マネジメントを学びたいと思ったことがありますか？

- 1 常に考えている 2 時々考えている  
3 あまり考えていない 4 全く考えたことがない

8 ご自身の仕事を有効かつ効率的に遂行するだけでなく、人材育成や組織運営効率を高めるために、経営学を初歩から学ぶ大学院（MBA）があれば、学んでみたいですか？

- 1 是非とも学びたい 2 学んでみたい  
3 学びたくない 4 その他

9 この文京学院大学専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科（仮称）」が間もなく設置されたら、入学したいと思いませんか？

- 1 入学したい  
2 入学を検討する  
3 既にMBAを持っているので入学は考えない  
4 関心がない  
5 その他

10 あなたは、春入学（4月初旬～）と秋入学（9月中旬～）が選べる場合、どのように考えますか？（複数選択可）

- 1 春入学が良い  
2 秋入学が良い  
3 わからない  
4 入学時期の選択肢は複数ある方が良い

アンケートへのご協力ありがとうございました。

文京学院大学専門職大学院

経営・管理職向け

福祉医療マネジメント研究科（仮称・設置構想中）設置に関するアンケート

このアンケート調査は、令和6年4月に設置を構想中の、文京学院大学の専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科 福祉医療マネジメント専攻（仮称・設置構想中）への入学意向等についてお聞きし、設置にあたっての基礎資料とするものです。ご協力をお願いします。

また、本専門職大学院の受験において、4年制大学の卒業は必ずしも必要はありませんので、短大卒、専門学校卒の専門職の方も、内容をご確認の上、回答をお願いします。

なお、このアンケートの結果は、コンピューターにより処理され、統計資料としてのみ用い、個人情報などを外部の人に見せたりすることはありません。

回答は、設問の順に該当する番号を選択してください（一部、自由記入欄があります）  
内容は構想中のもので、一部変更になる場合があります。

- 0 まずは、現在構想中の「文京学院大学 専門職大学院 医療福祉マネジメント研究科（仮称）」の内容をご説明した、2枚のパンフレットをご覧ください。以下の質問にお答えください。  
必要に応じて、回答の途中でもパンフレットをご確認ください。

- 1 あなたのお仕事が、企業・団体等の組織運営の経営層（理事長や事務長など）や施設運営の決定権のある管理職の場合は、「はい」を選んでください。そのほかの方は「いいえ」を選んでください。

- 1 はい ※「はい」の場合はQ11～20を回答  
2 いいえ ※「いいえ」の場合はQ2～10を回答

- 11 あなたの年齢についてお伺いします。

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50歳以上

- 12 あなたが現在仕事をしているのは以下のどのエリアになりますか？

- 1 東京都・埼玉・千葉・神奈川県（1都3県）  
2 上記以外の関東甲信越地方（群馬・栃木・茨城・山梨・長野・新潟）  
3 北海道 4 東北地方 5 中部地方 6 近畿地方  
7 中国地方 8 四国地方 9 九州地方 10 海外

- 13 あなたが経営もしくは勤務しているのは、以下のどの企業・団体・施設ですか？（複数回答可）

- 1 介護・福祉関係  
2 医療関係  
3 児童福祉関係（保育園・保育所・幼稚園・こども園など）  
4 学校・教育機関（小学校・中学校・高校など）  
5 行政やNPO  
6 その他

- 14 あなたは、文京学院大学 専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科（仮称）のパンフレットを見て興味を持ったのは、どのような内容でしたか。いくつでも選んでください（複数回答可）

- 1 福祉医療分野の専門職が経営学を学んでマネジメント力がつくこと  
2 様々な専門職と一緒に学ぶことで人脈形成が出来ること  
3 充実した奨学金で、実質的な経済負担が年収の1割程度で学べること  
4 修士論文ではなく、「課題プロジェクト研究」で修士（専門職）の学位が取得できる  
5 社会人に合わせた、平日の夜や土曜日、夏期集中講座で受講できること  
6 オンライン授業やハイフレックス授業で、遠隔地からも受講ができること  
7 実務家教員から学ぶことが出来ること  
8 地下鉄の駅から徒歩0分の立地  
9 福祉医療マネジメント研究科という今までにない専門職大学院が出来ること

- 15 あなたの所属する企業・団体・施設の職員（以下、職員）を大学院での学び直しに派遣するような制度はありますか？

- 1 既に大学院への派遣を実施している  
2 大学院ではないが、学び直しの場への派遣を行っている  
3 現在、制度の導入を検討中  
4 制度は無いが、個人的に勉強をしている職員はいる  
5 そのような制度は検討していない

- 16 職員が本大学院への入学を希望した場合、その学びを支援しますか？

- 1 勤務時間を調整・配慮するなどして積極的に支援する  
2 金銭的な支給も行って、積極的に支援する  
3 特別な配慮はしないが、支援する  
4 入学は認めるが、特別な配慮や支援はしない  
5 仕事に支障が生じるので、入学は認めない  
6 海外人材の育成に活用してみたい  
7 わからない

- 17 職員が本大学院に入学をするとして、春入学（4月初旬～）と秋入学（9月中旬～）を選べる場合、どちらを選ばせたいですか？（複数選択可）

- 1 春入学を選ばせたい  
2 秋入学を選ばせたい  
3 わからない  
4 選択肢が複数ある方がよい

- 18 本学の福祉医療マネジメント研究科（仮称）の修士生を採用することに興味がありますか？

- 1 是非とも採用したい  
2 採用を検討したい  
3 わからない  
4 採用は考えない  
5 現在の職員に本大学院の入学を勧めるつもりなので、新たに採用しない

- 19 この質問は、あなたご自身についてお聞きします。

この文京学院大学専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科（仮称）」が間もなく設置されたら、入学したいと思いませんか？

- 1 入学したい  
2 入学を検討する  
3 既にMBAを持っているので入学は考えない  
4 関心がない  
5 その他

- 20 現在構想中の文京学院大学の専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科」に対する、ご意見や期待感など、以下にメッセージをお寄せください。（自由記入欄）

アンケートへのご協力ありがとうございました。

文京学院大学専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科（仮称・設置構想中）設置に関するアンケート集計  
保健医療技術学部・人間学部の在学学生向け

※問1は「パンフレット」を見たかの確認

問2 学年

No.	選択肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	3年生	200	27.5	27.6
2	4年生	156	21.5	21.5
3	その他	369	50.8	50.9
	不 明	1	0.1	
	サンプル数 (%ベース)	726		

問3 学部・学科

No.	選択肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	保健医療技術学部 理学療法学科	4	0.6	0.6
2	保健医療技術学部 作業療法学科	2	0.3	0.3
3	保健医療技術学部 臨床検査学科	3	0.4	0.4
4	保健医療技術学部 看護学科	138	19.0	19.0
5	人間学部 児童発達学科	276	38.0	38.0
6	人間学部 心理学科	4	0.6	0.6
7	人間学部 コミュニケーション社会学科	97	13.4	13.4
8	人間学部 人間福祉学科	202	27.8	27.8
9	その他	0	0.0	0.0
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	726		

問4 希望職種（複数選択可）

No.	選択肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	介護・福祉関係の専門職	130	17.9	17.9
2	医療関係の専門職	167	23.0	23.0
3	児童福祉関係の専門職	214	29.5	29.5
4	学校の先生	109	15.0	15.0
5	行政やNPO関連の職種	67	9.2	9.2
6	その他の専門職	63	8.7	8.7
7	事務職など専門職以外の仕事	134	18.5	18.5
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	726		

問5 問4で5、6を選択した人の具体的な仕事の自由回答

No.	選択肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	回答記入者	80	11.0	11.0
	サンプル数 (%ベース)	726		

※回答内容の抜粋は、本項の最後に記載します。

問6 興味を持った内容（複数回答）

No.	選択肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	福祉医療分野の専門職が経営学を学んでマネジメント力がつくこと	239	32.9	33.9
2	様々な専門職と一緒に学ぶことで人脈形成が出来る	237	32.6	33.6
3	充実した奨学金で、実質的な経済負担が年収の1割程度で学べること	115	15.8	16.3
4	修士論文でなく「課題プロジェクト研究」で修士（専門職）学位が取得できる	63	8.7	8.9
5	社会人に合わせた、平日の夜や土曜日、夏期集中講座で受講できる	141	19.4	20.0
6	オンライン授業やハイフレックス授業で、遠隔地からも受講ができる	170	23.4	24.1
7	実務家教員から学ぶことが出来る	61	8.4	8.7
8	地下鉄の駅から徒歩0分の立地	171	23.6	24.3
9	福祉医療マネジメント研究科という今までにない専門職大学院が出来ること	57	7.9	8.1
	不 明	21	2.9	3.0
	サンプル数 (%ベース)	726		

問7 管理職として経営学・マネジメントの知識の必要性

No.	選択肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	必ず必要になると思う	265	36.5	36.5
2	たぶん必要だと思う	381	52.5	52.5
3	必要は無いと思う	14	1.9	1.9
4	わからない	66	9.1	9.1
	不 明	0	0.0	0.0
	サンプル数 (%ベース)	726		

問8 学び直しの際、母校（文京学院大学）の専門職大学院への進学希望

No.	選択肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	必ず母校を選ぶと思う	46	6.3	6.3
2	選択肢として検討すると思う	478	65.8	65.8
3	他の大学院を選ぶと思う	76	10.5	10.5
4	よくわからない	126	17.4	17.4
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	726		

問9 MBA取得の希望

No.	選択肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	是非とも学びたい	46	6.3	6.3
2	学んでみたい	478	65.8	65.8
3	学びたくない	76	10.5	10.5
4	その他	126	17.4	17.4
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	726		

問10 入学の意思・時期

No.	選択肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	管理職になったら入学したい	41	5.6	5.6
2	管理職になる前の、準備段階で入学したい	100	13.8	13.8
3	仕事を始めて、数年程度で入学したい	36	5.0	5.0
4	大学を卒業したら、そのまま入学したい	13	1.8	1.8
5	よくわからない	391	53.9	53.9
6	入学したいとは思わない	145	20.0	20.0
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	726		

問11 春入学・秋入学について（複数選択可）

No.	選択肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	春入学が良いと思う	247	34.0	34.0
2	秋入学が良いと思う	74	10.2	10.2
3	わからない	170	23.4	23.4
4	入学時期の選択肢は複数ある方が良い	292	40.2	40.2
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	726		

問5の回答（問4の選択肢にないものの中から代表的なものを抜粋）

スクールカウンセラー、動物看護師、
MSW(医療ソーシャルワーカー)
訪問看護ステーションとデイサービスの事務職、
地域おこし協力隊、生活支援員、
市役所職員、地方公務員、公務員
一般企業、営業職、メディア関係、アパレル、販売・接客
広告代理店、広告業界、金融、銀行員、不動産、大学職員



文京学院大学専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科（仮称・設置構想中）設置に関するアンケート集計 卒業生の専門職向け

問0-1 卒業年

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
	2010年	1	1.2	1.2
	2011年	14	16.9	17.1
	2012年	7	8.4	8.5
	2013年	13	15.7	15.9
	2014年	10	12.0	12.2
	2015年	14	16.9	17.1
	2016年	11	13.3	13.4
	2017年	11	13.3	13.4
	2018年	0	0.0	0.0
	2019年	1	1.2	1.2
	不 明	1	1.2	
	サンプル数 (%ベース)	83		

問0-2 卒業した学部・学科

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	保健医療技術学部 理学療法学科	15	18.1	18.1
2	保健医療技術学部 作業療法学科	12	14.5	14.5
3	保健医療技術学部 臨床検査学科	15	18.1	18.1
4	保健医療技術学部 その他	0	0.0	0.0
5	人間学部 保育学科	2	2.4	2.4
6	人間学部 児童発達学科	16	19.3	19.3
7	人間学部 共生社会学科	0	0.0	0.0
8	人間学部 コミュニケーション社会学科	4	4.8	4.8
9	人間学部 人間福祉学科	13	15.7	15.7
10	人間学部 心理学科	6	7.2	7.2
11	人間学部 その他	0	0.0	0.0
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	83		

問1 管理職かどうかの枝分かれ質問（このシートは全員 非管理職=専門職等）

問2 年齢

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	20代	26	31.3	31.3
2	30代	57	68.7	68.7
3	40代	0	0.0	0.0
4	50歳以上	0	0.0	0.0
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	83		

問3 職種（複数回答可）

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	介護・福祉関係の専門職	8	9.6	9.6
2	医療関係の専門職	42	50.6	50.6
3	児童福祉関係の専門職	17	20.5	20.5
4	学校の先生	3	3.6	3.6
5	行政やNPO関連の職種	2	2.4	2.4
6	事務職および管理職	7	8.4	8.4
7	その他	7	8.4	8.4
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	83		

問4 仕事のエリア

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	東京・埼玉・千葉・神奈川	75	90.4	90.4
2	上記以外の関東甲信越地方	3	3.6	3.6
3	北海道	0	0.0	0.0
4	東北地方	1	1.2	1.2
5	中部地方	2	2.4	2.4
6	近畿地方	2	2.4	2.4
7	中国地方	0	0.0	0.0
8	四国地方	0	0.0	0.0
9	九州地方	0	0.0	0.0
10	海 外	0	0.0	0.0
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	83		

問5 興味を持った内容（複数回答可）

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	福祉医療分野の専門職が経営学を学んでマネジメント力がつくこと	43	51.8	51.8
2	様々な専門職と一緒に学ぶことで人脈形成が出来る	25	30.1	30.1
3	充実した奨学金で、実質的な経済負担が年収の1割程度で学べること	18	21.7	21.7
4	修士論文ではなく、「課題プロジェクト研究」で修士（専門職）の学位が取得できる	17	20.5	20.5
5	社会人に合わせた、平日の夜や土曜日、夏期集中講座で受講できる	41	49.4	49.4
6	オンライン授業やハイフレックス授業で、遠隔地からも受講ができる	25	30.1	30.1
7	実務家教員から学ぶことが出来る	5	6.0	6.0
8	地下鉄の駅から徒歩0分の立地	13	15.7	15.7
9	福祉医療マネジメント研究科という今までにない専門職大学院が出来ること	36	43.4	43.4
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	83		

問6 経営や管理(マネジメント)に関する知識や技術を求められているか

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	常に求められている	12	14.5	14.6
2	時々求められる	33	39.8	40.2
3	あまり求められない	19	22.9	23.2
4	全く求められない	12	14.5	14.6
5	わからない	6	7.2	7.3
	不 明	1	1.2	
	サンプル数 (%ベース)	83		

問7 経営学や組織マネジメントを学びたいか

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	常に考えている	6	7.2	7.2
2	時々考えている	34	41.0	41.0
3	あまり考えていない	23	27.7	27.7
4	全く考えたことがない	20	24.1	24.1
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	83		

問8 MBA取得の希望

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	是非とも学びたい	5	6.0	6.0
2	学んでみたい	42	50.6	50.6
3	学びたくない	25	30.1	30.1
4	その他	11	13.3	13.3
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	83		

問9 入学の意思

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	入学したい	0	0	0
2	入学を検討する	16	19.3	19.3
3	既にMBAを持っているので入学は考えない	1	1.2	1.2
4	関心がない	46	55.4	55.4
5	その他	20	24.1	24.1
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	83		

問10 春入学・秋入学について（複数選択可）

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	春入学が良い	17	20.5	20.5
2	秋入学が良い	6	7.2	7.2
3	わからない	12	14.5	14.5
4	入学時期の選択肢は複数ある方が良い	57	68.7	68.7
	不 明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	83		

文京学院大学専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科（仮称・設置構想中）設置に関するアンケート集計 卒業生（経営・管理職）

問0-1 卒業年

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
2011年		3	30	37.5
2012年		1	10	12.5
2013年		2	20	25
2014年		1	10	12.5
2015年		0	0	0
2016年		0	0	0
2017年		1	10	12.5
不明		2	20	
サンプル数 (%ベース)		10		

問0-2 卒業した学部・学科

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	保健医療技術学部 理学療法学科	4	40	40
2	保健医療技術学部 作業療法学科	1	10	10
3	保健医療技術学部 臨床検査学科	0	0	0
4	保健医療技術学部 その他	0	0	0
5	人間学部 保育学科	1	10	10
6	人間学部 児童発達学科	0	0	0
7	人間学部 共生社会学科	0	0	0
8	人間学部 コミュニケーション社会学科	2	20	20
9	人間学部 人間福祉学科	0	0	0
10	人間学部 心理学科	2	20	20
11	人間学部 その他	0	0	0
不明		0	0	0
サンプル数 (%ベース)		10		

問1 管理職かどうかにかかわらず質問（このシートは全員 経営・管理職）

問11 年齢

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	20代	0	0	0
2	30代	10	100	100
3	40代	0	0	0
4	50歳以上	0	0	0
不明		0	0	0
サンプル数 (%ベース)		10		

問12 仕事のエリア

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	東京・埼玉・千葉・神奈川	7	70	70
2	上記以外の関東甲信越地方	0	0	0
3	北海道	0	0	0
4	東北地方	2	20	20
5	中部地方	0	0	0
6	近畿地方	0	0	0
7	中国地方	0	0	0
8	四国地方	0	0	0
9	九州地方	1	10	10
10	海外	0	0	0
不明		0	0	0
サンプル数 (%ベース)		10		

問13 職種（複数回答可）

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	介護・福祉関係	3	30	30
2	医療関係	4	40	40
3	児童福祉関係（保育園・保育所・幼稚園・こども園など）	2	20	20
4	学校・教育機関（小学校・中学校・高校など）	1	10	10
5	行政やNPO	0	0	0
6	その他	3	30	30
不明		0	0	0
サンプル数 (%ベース)		10		

問14 興味を持った内容（複数回答可）

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	福祉医療分野の専門職が経営学を学んでマネジメント力がつくこと	9	90	90
2	様々な専門職と一緒に学ぶことで人脈形成が出来ること	3	30	30
3	充実した奨学金で、実質的な経済負担が年収の1割程度で学べること	3	30	30
4	修士論文ではなく、「課題プロジェクト研究」で修士（専門職）の学位が取得できること	1	10	10
5	社会人に合わせた、平日の夜や土曜日、夏期集中講座で受講できること	5	50	50
6	オンライン授業やハイフレックス授業で、遠隔地からも受講ができること	3	30	30
7	実務家教員から学ぶことが出来ること	2	20	20
8	地下鉄の駅から徒歩0分の立地	0	0	0
9	福祉医療マネジメント研究科という今までにない専門職大学院が出来ること	2	20	20
不明		0	0	0
サンプル数 (%ベース)		10		

問15 所属組織において職員の大学院等での学び直しに派遣する制度の有無

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	既に大学院への派遣を実施している	0	0	0
2	大学院ではないが、学び直しの場への派遣を行っている	0	0	0
3	現在、制度の導入を検討中	0	0	0
4	制度は無いが、個人的に勉強をしている職員はいる	7	70	70
5	そのような制度は検討していない	4	40	40
不明		0	0	0
サンプル数 (%ベース)		10		

問16 職員が大学院への入学を希望した場合の支援

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	勤務時間を調整・配慮するなどして積極的に支援する	4	40	40
2	金銭的な支給も行って、積極的に支援する	0	0	0
3	特別な配慮はしないが、支援する	3	30	30
4	入学は認めるが、特別な配慮や支援はしない	2	20	20
5	仕事に支障が生じるので、入学は認めない	0	0	0
6	海外人材の育成に活用してみたい	0	0	0
7	わからない	1	10	10
不明		0	0	0
サンプル数 (%ベース)		10		

問17 職員が入学する場合の春入学・秋入学について（複数選択可）

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	春入学が良い	1	10	10
2	秋入学が良い	1	10	10
3	わからない	1	10	10
4	入学時期の選択肢は複数ある方が良い	7	70	70
不明		0	0	0
サンプル数 (%ベース)		10		

問18 本研究科の修士生の採用について

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	是非とも採用したい	0	0	0
2	採用を検討したい	3	30	30
3	わからない	5	50	50
4	採用は考えない	2	20	20
5	現職員に本大学院の入学を勧めるつもりなので、新たには採用しない	0	0	0
不明		0	0	0
サンプル数 (%ベース)		10		

問19 ご自身の入学の意思

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	入学したい	1	10	10
2	入学を検討する	3	30	30
3	既にMBAを持っているので入学は考えない	1	10	10
4	関心がない	2	20	20
5	その他	3	30	30
不明		0	0	0
サンプル数 (%ベース)		10		

問20 本研究科に対するメッセージ（自由記入）

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	回答記入者	3	30	30
サンプル数 (%ベース)		10		

卒業生として応援します  
 特定の分野における社会への還元を目的として、医療・福祉・自費の分野にとられない市民が  
 恩恵を受けるようなシステムの創設に関する研究を是非おこなっていただきたい  
 慶應義塾大学大学院にてMBAを2020年に取得しました。MBA過程においては研究がメインでは  
 ないため、修士論文の執筆は必要ないため現状の制度は良いと思います。  
 一方で、カリキュラムにおいてファイナンスや計量経済学のような経営学上における重要となる  
 数理統計の要素、および医療経済性評価や医療制度評価のようなMPH（公衆衛生学修士）におい  
 て必須となる要素が不足している印象です。特に、ファイナンスはMBA過程においては必須かと  
 思います。  
 全体的に、起業家論のようなソフトなナレッジというより、学術的に蓄積された知見が厚いコン  
 テンツを拡充する必要があるかと存じます。仮に、先進性の高いコンテンツの導入を検討する場  
 合は、統計学と機械学習(AI)が必須かと思えます。



文京学院大学専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科（仮称・設置構想中）設置に関するアンケート集計 専門職向け

問1 管理職かどうかの枝分かれ質問（このシートは全て 非管理職＝専門職等）

問2 年齢

No.	選 択 肢	件数	全体%	不明を 除く%
1	20代	242	33.5	33.5
2	30代	152	21.1	21.1
3	40代	205	28.4	28.4
4	50歳以上	123	17.0	17.0
	不 明	0	0	
	サンプル数（%ベース）	722		

問3 職種（複数選択可）

No.	選 択 肢	件数	全体%	不明を 除く%
1	介護・福祉関係の専門職	70	9.7	9.7
2	医療関係の専門職	296	41.0	41.0
3	児童福祉関係の専門職	4	0.6	0.6
4	学校の先生	25	3.5	3.5
5	行政やNPO関連の職種	14	1.9	1.9
6	事務職および管理職	154	21.3	21.3
7	その他	165	22.9	22.9
	不 明	0	0	
	サンプル数（%ベース）	722		

問4 仕事のエリア

No.	選 択 肢	件数	全体%	不明を 除く%
1	東京都・埼玉・千葉・神奈川県（1都3県）	527	73.0	73.0
2	上記以外の関東甲信越地方（群馬・栃木・茨城・山梨・長野・新潟）	45	6.2	6.2
3	北海道	2	0.3	0.3
4	東北地方	5	0.7	0.7
5	中部地方	24	3.3	3.3
6	近畿地方	12	1.7	1.7
7	中国地方	41	5.7	5.7
8	四国地方	4	0.6	0.6
9	九州地方	8	1.1	1.1
10	海 外	54	7.5	7.5
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	722		

問5 興味を持った内容（複数回答可）

No.	選 択 肢	件数	全体%	不明を 除く%
1	福祉医療分野の専門職が経営学を学んでマネジメント力がつくこと	417	57.8	58.1
2	様々な専門職と一緒に学ぶことで人脈形成が出来る	281	38.9	39.1
3	充実した奨学金で、実質的な経済負担が年収の1割程度で学べること	239	33.1	33.3
4	修士論文はなく「課題プロジェクト研究」で修士（専門職）学位が取得できる	196	27.1	27.3
5	社会人に合わせた、平日の夜や土曜日、夏期集中講座で受講できる	299	41.4	41.6
6	オンライン授業やハイフレックス授業で、遠隔地からも受講ができる	256	35.5	35.7
7	実務家教員から学ぶことが出来る	92	12.7	12.8
8	地下鉄の駅から徒歩0分の立地	131	18.1	18.2
9	福祉医療マネジメント研究科という今までにない専門職大学院が出来ること	405	56.1	56.4
	不 明	4	0.6	
	サンプル数（%ベース）	722		

問6 経営や管理(マネジメント)に関する知識や技術を求められているか

No.	選 択 肢	件数	全体%	不明を 除く%
1	常に求められている	224	31.0	31.0
2	時々求められる	327	45.3	45.3
3	あまり求められない	85	11.8	11.8
4	全く求められない	32	4.4	4.4
5	わからない	54	7.5	7.5
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	722		

問7 経営学や組織マネジメントを学びたいか

No.	選 択 肢	件数	全体%	不明を 除く%
1	常に考えている	143	19.8	19.8
2	時々考えている	383	53.0	53.0
3	あまり考えていない	152	21.1	21.1
4	全く考えたことがない	44	6.1	6.1
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	722		

問8 MBA取得の希望

No.	選 択 肢	件数	全体%	不明を 除く%
1	是非とも学びたい	111	15.4	15.4
2	学んでみたい	403	55.8	55.8
3	学びたくない	116	16.1	16.1
4	その他	92	12.7	12.7
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	722		

問9 入学の意思

No.	選 択 肢	件数	全体%	不明を 除く%
1	入学したい	33	4.6	4.6
2	入学を検討する	243	33.7	33.7
3	既にMBAを持っているので入学は考えない	19	2.6	2.6
4	関心がない	203	28.1	28.1
5	その他	224	31.0	31.0
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	722		

問10 春入学・秋入学について（複数選択可）

No.	選 択 肢	件数	全体%	不明を 除く%
1	春入学が良い	116	16.1	16.1
2	秋入学が良い	107	14.8	14.9
3	わからない	181	25.1	25.2
4	入学時期の選択肢は複数ある方が良い	335	46.4	46.6
	不 明	3	0.4	
	サンプル数（%ベース）	722		

文京学院大学専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科（仮称・設置構想中）設置に関するアンケート集計 経営・管理職

問1 管理職かどうかの枝分かれ質問（このシートは全員管理職）

問11 年齢

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	20代	26	7.9	7.9
2	30代	37	11.3	11.3
3	40代	111	33.8	33.8
4	50歳以上	154	47.0	47.0
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	328		

問12 仕事のエリア

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	東京都・埼玉・千葉・神奈川（1都3県）	256	78.0	78.0
2	上記以外の関東甲信越地方（群馬・栃木・茨城・山梨・長野・新潟）	20	6.1	6.1
3	北海道	2	0.6	0.6
4	東北地方	7	2.1	2.1
5	中部地方	3	0.9	0.9
6	近畿地方	7	2.1	2.1
7	中国地方	8	2.4	2.4
8	四国地方	2	0.6	0.6
9	九州地方	6	1.8	1.8
10	海 外	17	5.2	5.2
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	328		

問13 職種（複数回答可）

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	介護・福祉関係	140	42.7	42.7
2	医療関係	166	50.6	50.6
3	児童福祉関係（保育園・保育所・幼稚園・こども園など）	17	5.2	5.2
4	学校・教育機関（小学校・中学校・高校など）	24	7.3	7.3
5	行政やNPO	4	1.2	1.2
6	その他	30	9.1	9.1
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	328		

問14 職種（複数回答可）

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	福祉医療分野の専門職を学んでマネジメント力がつくこと	237	72.3	72.5
2	様々な専門職と一緒に学ぶことで人脈形成が出来ること	137	41.8	41.9
3	充実した奨学金で、実質的な経済負担が年収の1割程度で学べること	104	31.7	31.8
4	修士論文でなく「課題プロジェクト研究」で修士（専門職）学位が取得できる	121	36.9	37.0
5	社会人に合わせた、平日の夜や土曜日、夏期集中講座で受講できること	159	48.5	48.6
6	オンライン授業やハイフレックス授業で、遠隔地からも受講ができること	130	39.6	39.8
7	実務家教員から学ぶことが出来ること	50	15.2	15.3
8	地下鉄の駅から徒歩0分の立地	50	15.2	15.3
9	福祉医療マネジメント研究科という今までにない専門職大学院が出来ること	198	60.4	60.6
	不 明	1	0.3	
	サンプル数（%ベース）	328		

問15 所属組織において職員の大学院等での学び直しに派遣する制度の有無

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	既に大学院への派遣を実施している	81	24.7	24.7
2	大学院ではないが、学び直しの場への派遣を行っている	31	9.5	9.5
3	現在、制度の導入を検討中	17	5.2	5.2
4	制度は無いが、個人的に勉強をしている職員はいる	122	37.2	37.2
5	そのような制度は検討していない	100	30.5	30.5
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	328		

問16 職員が大学院への入学を希望した場合の支援

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	勤務時間を調整・配慮するなどして積極的に支援する	152	46.3	46.3
2	金銭的な支給も行って、積極的に支援する	47	14.3	14.3
3	特別な配慮はしないが、支援する	122	37.2	37.2
4	入学は認めるが、特別な配慮や支援はしない	33	10.1	10.1
5	仕事に支障が生じるので、入学は認めない	3	0.9	0.9
6	海外人材の育成に活用してみたい	14	4.3	4.3
7	わからない	48	14.6	14.6
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	328		

問17 職員が入学する場合の春入学・秋入学について（複数選択可）

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	春入学を希望したい	54	16.5	16.6
2	秋入学を希望したい	64	19.5	19.6
3	わからない	72	22.0	22.1
4	選択肢が複数ある方が良い	156	47.6	47.9
	不 明	2	0.6	
	サンプル数（%ベース）	328		

問18 本研究科の修士生の採用について

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	是非とも採用したい	49	14.9	14.9
2	採用を検討したい	155	47.3	47.3
3	わからない	120	36.6	36.6
4	採用は考えない	13	4.0	4.0
5	現職員に本大学院の入学を勧めるので、新たには採用しない	5	1.5	1.5
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	328		

問19 ご自身の入学の意思

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	入学したい	19	5.8	5.8
2	入学を検討する	116	35.4	35.4
3	既にMBAを持っているので入学は考えない	37	11.3	11.3
4	関心がない	51	15.5	15.5
5	その他	105	32.0	32.0
	不 明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	328		

問20 本研究科に対するメッセージ（自由記入）

No.	選 択 肢	件数	全体 %	不明を 除く%
1	回答記入者	93	28.4	28.4
	サンプル数（%ベース）	328		

## 経営・管理職へのアンケート フリーアンサーのピックアップ（1）

介護・福祉分野で働く従事者が、このような場で学びを続けることは大変重要なことだと思う。
オンラインでの学びが主であると通学に時間を取られず勤務とも調整しやすいため大変ありがたい。
「福祉医療マネジメント研究科」今の時代に求められる専門職大学院だと思います。社会人教育の場としても期待しております。
自身も興味を持っていますが、若手のスタッフにも興味を持つものがあれば支援したいと考えます。
大変興味深くパンフレットを拝見いたしました。医療福祉に特化したMBA教育は大変魅力的です。
社員の通学を検討したいと思います。
これからの時代にマッチングした分野だと思います。
医療、福祉職は学生時代に経営学及びそのマネジメントを学ぶ機会がなく、実際に学びたいと考えても、何から学べば良いのかわからない。そのため、このような大学院の設置は、管理職や起業家にとってとても有益な機会になると思います。
将来の管理職候補に入学を勧めたい。
入学にあたっての選考はどのような方法になるのか興味があります。
新しい試み、是非とも成功例として前例を作っていただきたいと願います
福祉・幼児教育・医療に従事する者にも経営に関する知識やマネジメントは必須と考えており、現在は自社で管理職等に向けて教育継続中である。そのような観点から、当該大学院の設立は望ましいことと考えています。実現されることを切望致します。
自分の専門に特化して管理職に必要なマネジメント力が身に付けられることは、とてもいい環境だと思います。
介護・福祉事業は介護保険で担保される事業ではありますが、一方で運営に経済合理性が欠けると破綻しやすい事業でもあります。施設の入居者や利用者、並びに職員の人格や感性、生活、健康を尊重しつつ、経営の視点から採算性を重視しながら運営することが必要で、それを客観的且つ合理的に判断できる人材を育成することが事業の継続に不可欠であると考えます。但し、"頭でっかち"は役に立たないので、現場の実務を理解している人材を望みます。
介護保険制度が施行されて20年が経過し、2025年をピークに高齢者の人口が徐々に下がることになり高齢者介護施設や事業者が淘汰される時期が間違いなく起こることを考えると、これまでは介護の技術と知識を身に着けた介護職員の育成が課題であったが、これから先は介護事業の経営や運営についての理解と課題解決能力を身に着けた職員が必要になっていくことは必須と思われる。その意味で貴校の今回の取り組みは時代の流れに合致していると考えます。
現場からマネジメント中心の業務に役割が変わったときに、さまざまな研修の参加機会はありませんでしたが、知識不足は否めませんでした。規模の大きくない施設なので、職員の前に立つには現場の経験も必要(発言の説得力をもつ)だと思っていますが、プラスして総合的にマネジメントの知識があるということは、大きな強みになると思います。
「やりがい」重視や「奉仕精神」、ボランティアとは一線を画した福祉業の仕事としての価値の見直し及び従事者の待遇改善の推進、介護・障がい者支援・子育て支援他、身近なインフラである福祉業への投資によるサービス環境の充実がもたらす社会全体の幸福度の向上・活性化に寄与いただくことを期待します。
管理職としてマネジメントを体系的に学びなおしたいと考えているので、大変に期待しています。入学を前向きに検討したいです。よろしくお願ひします。
医療福祉ではなく福祉医療という名前からもフラットな連携を構築できる学びが可能な場になってもらえることを期待しています。
専門職が充実するのは良いことだと思います
社会事業大学の福祉マネジメント研究科と比べてメリットを感じない。(社事大の福祉マネジメント研究科の開設は2004年ではないか?)
施設運営について経営戦略を持って運営にあたることは重要だと思います。また、相談援助支援の中でも福祉の知識だけではなく経済的な専門知識も必要と感じています。ぜひ福祉医療マネジメント研究科の中で、相談援助の現場で活かすことのできるFPの様な知識や感覚を学べれば良いと思います。
福祉と医療の連携については今後も必要ですので、一人でも多くの修士(専門職)の方が誕生し、この業界で活躍して頂けたら、活気がつくのではと期待しております。
福祉分野では、介護技術や概念については素晴らしい知識を持っている職員はいるが、マネジメントが苦手な介護職員が多いので、このような学びの場は法人の経営層育成のプランにも入れられるのではないかと感じました。
専門性を高める人材を育成する場として、非常に好感が持てる。実現に向け頑張って戴きたい。
自分では、年齢的なこともあり今から入学してというのは難しいと思うが、職場の中で、大学院で勉強している職員もおり、今回、コンサルタント会社に協力してもらって、キャリアデザインや給与制度等の改定を行うプロジェクトを立ち上げた。学びたい職員はできる限り応援していきたいと思っている。
現在の介護保険制度では、修士課程の関連資格を持っていても介護報酬には反映されず、個人にのみ反映されるために導入は難しい。
修士獲得者が報われる給与体系がある法人や会社でないといけない。
経営的な観点で、社会福祉事業の運営を学べる場所がなかったので、とても有益な研究科になると思います。
少し興味があるので、距離が近ければ
新しい研究科でとても興味深いです。
金銭的な側面から捻出が難しい。
同じ福祉の事業所であっても、ご利用者様の直接支援と管理・経営は別の視点・知識・経験が必要なため、このような構想を学べる場があるというのは、とても良いことだと思います。入学するには、実務経験〇年など、条件があるのでしょうか？(現場職員と管理・経営層の考え方に解離があると不協和音が起こりやすいと思うので、経営者を目指して学ぶ人には、ある程度実務経験を備えてほしいという、個人的な考えから浮かんだ質問です)
学問として学ぶ大学院は多くあるが、福祉医療の経営の実務専門家(リーダー)を育てて頂きたい。特にアジアが、これから超高齢化社会になる時に、日本が先進国として、介護保険のない国においてどう導いていく事も大切だと思います。
その意味でも、日本の社会保障だけでなく、介護サービス経営者としてのリーダーを育てて頂ければ強く願うところです。難局はあるかと思いますが大いにこれからの開講に期待します。
このような修士資格は大変興味深いと感じました。家族の進学との兼ね合いがありますが、個人的には入学したい気持ちもあります。

## 経営・管理職へのアンケート フリーアンサーのピックアップ(2)

時代の流れを捉えた素晴らしい計画だと思います。30代、40代の時にあれば入学できたと思うと少し残念ですが、後進に推奨します。
学べる機会がありましたら、学びたいと思います
非常に実務的で素晴らしいと感じました。今後必ず必要な学びになると思います。
介護の世界はまだ専門性が低く学ぶ機会も少ないので、意欲がある職員が学べる場ができることは嬉しい事である
私(このアンケート回答者である危機管理部長)は、他大学で教えているので、貴大学院でもその機会を得られたらうれしい。
私は、文京学院大学大学院を10年前?卒業致しました。医療マネジメントです。専門職大学院の設立は、とても嬉しいです
すぐく興味があります。さらに10年・20年前にこのような学びの場があればよかったです。
今後も必須の福祉医療分野で積極的な取り組みを行っていることは大変期待が持てます。
福祉分野の経営に関するマネジメントは大切な分野とっておりますが、なかなか表立ってできることではないような印象がありましたので、設立に関して非常に期待しています。
未来の日本の福祉事業者にとって、素晴らしい試みだと思いますので、是非良い形を創って頂きたいと思います。
福祉業界に従事している人にとって、次のステージとして考えられる新たなカテゴリーと感じた。
医療福祉分野の実社会での管理職に必要なマネジメントスキルを学ぶのができ、また、組織の理念に沿って考えて行動できる人材育成を目指していただきたい。
福祉医療やヘルスケア領域では、マネジメントと言うワードは知っている。中身は知らない。なにしているのか、効果も不明。と言うレベルと思われる。
この分野を体系的にシステマティックに学び、更には実践から効果検証まで統合的に習得できる場としてとても期待しています!
授業時間がフレキシブルなこと、給付金等の制度が充実していることは、医療職の実情に即しておりとても興味を持った。
得た知識を身につけるために実践する場がどのように提供されるかももう少し詳しく書いてあると、より興味を惹かれると思う
制度改正の波と人材不足、厳しい経営環境が強いられる中、これまでの運営手法が通用しなくなってきました。MBA学習を通じてイノベーションな戦略を法人内で生み出すために、大変有意義な学びの場になろうかと思えます。
修士論文を課さないことはメリットでもあるが、デメリットでもある。入学時点でしっかりした小論文をかける力がある学生を集めないと、ディスカッションレベルに影響を及ぼす可能性がある。新しい試みに期待したい。
医療や福祉においてももちろん、経営学は重要で、知識としては必須です。どちらかという、他の職種よりも経営学が重要視されてこなかったもので、「福祉医療マネジメント研究科」に興味を持ちました。
福祉医療職に特化した専門職マネジメントは、これからの日本に必要なかと思えます。社会がそれに投資をしてくれるかは、少子高齢化の社会での必要度によると考えます。頑張ってください。
貴大学院で専門知識等を得られたとしても、多くの事業者は事業継続のためその専門職をそのまま配置することは考えにくいと思います。(恐らく現場職員として採用し、それなりのポストに就くときに学んだことが活かせる)
しかし、学ぶべきことは介護業界でも必要な事項であり非常に興味があります。幹部候補生や現在の法人管理者育成を目的として、科目の一部を学べる仕組みがあってもよいと思います。
福祉医療の根底にあるお金の問題、公的保険や民間保険などの情報も広く学ぶべきと考える。
海外の履修生に向けたメニューについて、興味があります。
福祉医療専門職の育成は急務ですが、現場での育成には限界があると感じています。少子高齢化が進み中、現場で問題解決できる人材の育成を大学院に期待しております。
世界最速の高齢化に対する日本の介護のあり方を学ぶ場にしてほしいです。
とても興味深い反面、修了生が現場でどのように活躍できるか雇用側としてイメージし難い部分もあります。
医療・福祉を経済活動としてとらえる事の期待はすごく大きい。人を大事にする事を当たり前のように感じている人が多い業界が、人もお金も大事にして、時代や地域を牽引していけたら良い。
リスク云々などを持つことは大事だが、動きを止めず、進み続けて欲しい
専門的な知識や経験の蓄積が、これからの福祉医療の現場に必要な知恵として活かされていく事を期待しております。
また、業界における悲しいニュースを度々目にします。
やり方も大切ですが、何より在り方が大切である事も伝え、自らそれを考えていける様な場になって欲しいと思います。
所属施設では、必要な部分のマネジメントについても自主性に任されており(学ぶ時間や日程、金銭的な補助もなし)学びにくい環境であり、基礎的な考え方など学ぶことなく管理職として従事しているスタッフが多い。このような学習の場を管理職へのステップとして利用できるとよいと思いました。
当社では、現地の医学大専(中国の大学3年制度)と連携していますが、大専卒の学生に貴校の大学院に直接進学という可能性を検討していただけますでしょうか。よろしくお願致します
大切なことと考えます。福祉医療という名があるので、単に経営、単に医療福祉分野ということではなく、そこで大変な思いをしているクライアントがいるということの中核においたマネジメント教育を行っていただければと思います。
入学から修了まで通して、どの程度の学力が必要でしょうか。自分が受講するにも、職員に進めるにせよ気になります。やる気があれば何とかなるようでしたら有難く思います。
勤務しながら専門的に学べることは魅力的であるが、教員の数は余裕がないため、一度仕事に区切りを付けるなどしないと、実際に両立は難しいと思う。
専門学校卒業生にも、学位を取得できる機会があるのは、今後新しい道が開けると感じました。
医療職はその専門性から専門分野の知識と経験が豊富な人間が昇進し、管理職となるが、決して組織マネジメント能力に長けた人が管理職に就いていない現状も見られる。
医療職においても、これからの時代は大学では学ぶ機会のない組織マネジメントやロジカルシンキング、プレゼンテーションスキル等を身につけた人間が管理職になるべきである

## 専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科 (仮称)を 令和6年(2024年)4月設置に向けて構想中です

社会福祉施設・医療関係・保育関係等 福祉医療分野の専門職、非営利企業や行政・NPOなどで働く方々で、「組織運営やチームマネジメント」「人材育成(海外人材も含む)」「サービス開発やその質の向上」などに悩みをお持ちの方も多いと思います。

でも、解決方法がわからない。そんな皆さんの課題を解決すべく、経営学の基礎から応用までを学び、福祉医療分野の専門知識を有効に活用する高度専門職人材を育成する「専門職大学院」を構想しています。

少子高齢化が進む日本において、今後ますます重要性が高まる **福祉医療分野の専門職の「経営管理能力」**を育成する、専門職大学院です。

### 福祉医療マネジメント研究科の特徴

#### 1. 経営学を共通語に学びます

マネジメントを基礎から応用まで学び、「経営学」という共通語で福祉医療分野の現場をけん引する人材を養成します。今後のキャリア開発にも活かせます。

#### 2. 多職種の連携を促進します

様々な福祉医療分野の専門職や経営職が、それぞれの背景のもとに議論を深め、経営学の共通語で互いを理解しながら、実践的な思考や多面的な分析、問題解決能力を高めます。

#### 3. 専門職大学院ならではの「課題プロジェクト研究」で実践力を身につけ、修士論文は課しません

研究者養成の大学院と違い、修士論文はありません。「課題プロジェクト研究」で実践的な課題解決力を身につけて、福祉医療マネジメント修士(専門職)MBAの学位を取得することができます。

#### 4. 平日夜に加え、土曜日や集中講義、オンライン授業等を組み合わせます

平日夜と土曜日、夏休み等の集中講義など、社会人に合わせた授業を予定します。オンラインと対面の授業を組合せたハイフレックス授業や、遠隔地や海外の履修生に向けたメニューも検討中です。

### 福祉医療分野の専門職や管理職・起業家で こんな人材を目指せます！

経営学の基礎的  
知識を活用し、  
問題発見と解決策  
を策定できる人材

経営管理能力  
を有する人材

リーダーシップやフォロ  
ワーシップを発揮する、  
多職種連携の組織を  
構築する人材

新しいビジネスモデル  
構築や価値創造を実現  
させる起業も可能な人材

特定の地域や国境  
を越えて福祉医療  
分野の活動も  
可能な人材



## 主な授業科目について(予定)

内容は構想中のもので  
変更になる場合があります。

### 必修科目

福祉医療現場の実務家に求められる「探求心」「問題発見力」「合理的に修正・改善・改革する力」を養成するためのチーム学習「ビジネスプラン」「課題プロジェクト研究」が必須科目です。

### 基礎科目(選択必修)

様々な職種の福祉医療専門職が集うため、今まで学ぶ機会がなかった経営学の科目を選択したり、不得意分野を補強する目的で選択するなど、それぞれに合った選択科目を履修できます。教員からも様々な履修サポートを実施します。「経営学」「事業戦略論」「マーケティング概論」「会計学」「情報処理」「DX」「経営組織論」「リーダーシップとコーチング」「企業論」「ビジネス定量分析」「起業者論」など

### 実践・応用科目(選択必修)

せつかくの専門職大学院での学びです。実践分野で幅を広げることや、応用力を高めるなど、高度な知識や応用力が身につきます。「労務管理実務」「国際医療人材開発論」「非営利組織の管理会計」「在宅医療論」「福祉医療の戦略経営」「異文化マネジメント」「異文化コミュニケーション」「公衆衛生特論」「社会福祉施設論」「医療・介護ビジネス論」「メディカルソーシャルワーク論」など

### 選択科目

文京学院大学の他研究科(経営学・外国語学・人間学・保健医療科学・看護学の各研究科)の科目も履修できます。あなたの知識の幅を広げる魅力的な科目も多数あります。

## 【概要】 ※いずれも構想中です

名称:文京学院大学 専門職大学院 福祉医療マネジメント研究科 福祉医療マネジメント専攻(仮称)  
学位名称:福祉医療マネジメント修士(専門職)

英訳名称 Master of Business Administration in Welfare Healthcare Services (MBA)

就学期間:2年(春入学、秋入学も構想)

入学定員:50人(募集人員:春入学25人、秋入学25人) ※2022年11月現在

学費:初年度110万円(入学金等含む)、2年目90万円の学費を予定。また、社会人の入学者には、年収の1割程度の実質負担で受講可能な、奨学金・給付金を設計中。 ※2022年11月現在

教員人員:経営学関連、組織学、統計学、DX関連、福祉医療関連など本学大学・大学院の教授陣と経験豊富な実務家教員、合計30名以上の教員を配置予定

## 社会人が学びやすい環境です

- ・**奨学金・給付金などの支援体制にも力を入れます**  
授業料の実質負担が年収の1割程度になるような奨学金給付金の制度を設計中。社会人の学びを強力支援。
- ・**通学に便利な地下鉄駅から0分**  
地下鉄南北線の「東大前駅」から徒歩0分という好立地。仕事終わりの受講にも便利です。
- ・**学びやすい時間割**  
授業は平日夜間と土曜日を中心とし、集中講義も多数準備。対面とオンラインを複合的に組み合わせます。
- ・**学びの環境も充実**  
大学院生専用の研究室を準備。蔵書約36万冊の図書館も利用可能です。



※本資料の内容は2022年11月現在の構想で、今後変更になる場合がありますのでご了承ください。

文京学院大学 本郷キャンパス 東京都文京区向丘 1-19-1

地下鉄南北線「東大前駅」下車 2番出口から 徒歩0分

※「東大前駅」まで、新宿駅から20分・渋谷駅から26分・東京駅から18分・池袋駅から16分

## ＜参考＞

## 他の大学院に関する情報

「福祉医療マネジメント研究科」というコンセプトの専門職大学院は日本では他に無いと思われませんが、参考となる他の専門職大学院の情報(最寄駅・定員・学費等)を掲載します。

	大学院名	研究科名	専攻名	最寄駅	入学定員 (人)	入学金 (円)	授業料 (円)	その他 (円)	合計 (円)	開設年度
1	文京学院大学 大学院	福祉医療 マネジメント研究科	福祉医療 マネジメント専攻	東大前	50	200,000	900,000	-	1,100,000	2024年 設置 構想中
2	昭和女子大学 大学院	福祉社会・経営研究科	福祉共創マネジ メント専攻	三軒茶屋	50	100,000	675,000	200,000	975,000	2023年 設置予定
3	日本社会事業大学 大学院	福祉マネジメント研究 科	福祉マネジメント 専攻	茗荷谷	50	282,000	267,900	304,500	854,400	1989年
4	日本福祉大学 大学院*	医療・福祉マネジメ ント研究科	医療・福祉マネジ メント専攻	鶴舞 (名古屋市)	30	200,000	680,000	100,750	980,750	2009年

\* 1～3は専門職大学院、4は通常の大学院です

注)上記はそれぞれのホームページに掲載された情報をもとに、2年間で修了する場合の1年目の学費等を記載しています。

以上

【資料 1 1】

社会科学系・保健系大学院における志願倍率と入学者数の経年推移

表 11-1：同系大学院修士課程・専門職学位課程における志願倍率の経年推移

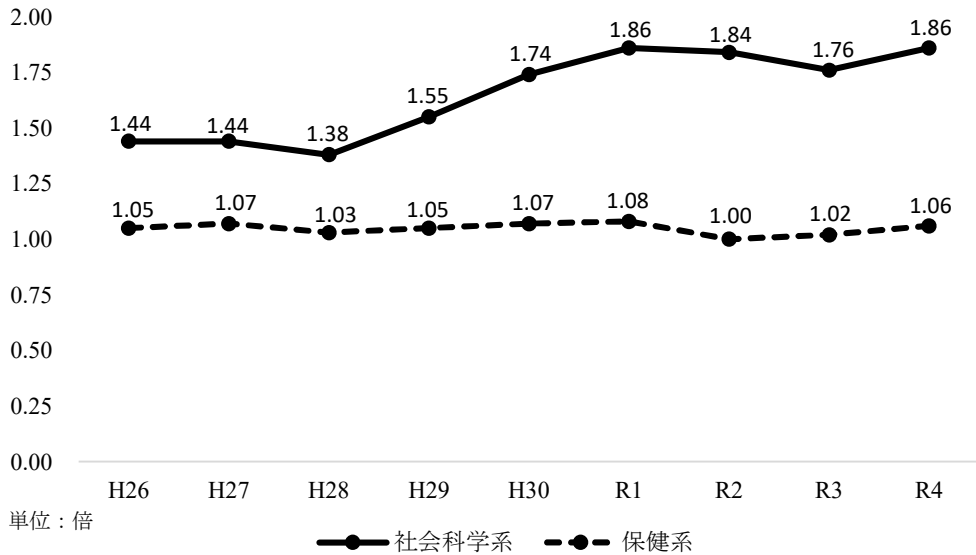
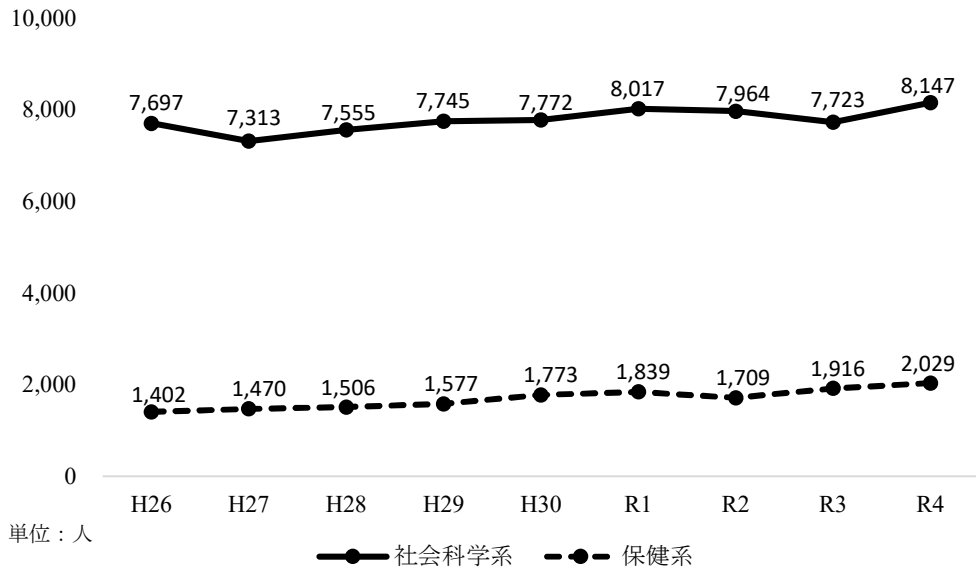


表 11-2：同系大学院修士課程・専門職学位課程における入学者の経年推移



出典：「私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）平成 26 年度版～令和 4 年度版より数値を引用。

備考：志願倍率は、志願者数／入学定員にて算出。



## 【資料 1 2】

### 競合他大学院の専門職大学院課程・修士課程における定員充足状況

表 12-1：競合他大学院の入学定員充足状況（令和 4 年度）

No	大学院名・研究科名・専攻名	入学定員	入学者数	入学定員充足率
1	日本社会事業大学大学院 福祉マネジメント研究科 福祉マネジメント専攻	50	67	1.34
2	日本福祉大学大学院 医療・福祉マネジメント研究科 医療・福祉マネジメント専攻	30	13	0.43
3	国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 医療福祉経営専攻	50	59	1.18

表 12-2：競合他大学院の収容定員充足状況（令和 4 年度）

No	大学院名・研究科名・専攻名	収容定員	在学生数	収容定員充足率
1	日本社会事業大学大学院 福祉マネジメント研究科 福祉マネジメント専攻	50	67	1.34
2	日本福祉大学大学院 医療・福祉マネジメント研究科 医療・福祉マネジメント専攻	60	30	0.50
3	国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 医療福祉経営専攻	100	91	0.91

出典：日本社会事業大学 web サイト上の定員・在学生数、日本福祉大学 web サイト上の入学者数・収容定員・学生数、学校法人国際医療福祉大学の令和 3 年度事業報告より引用。

備考：No1 は専門職大学院課程、No2 と No3 は大学院修士課程。

## 要 望 書

学校法人文京学院

学院長・理事長 島田昌和 様

文京学院大学におかれましては、2024年4月の設置を目指して、保健医療福祉領域の専門職大学院の準備を進められており、その計画では、研究科名が「福祉医療マネジメント研究科（仮称）」とある通り、福祉・介護や医療分野などの非営利組織で働く専門職や経営・管理職等を対象としてマネジメントを基礎から学び、管理運営能力を高め、それらの組織をけん引する人材を養成する、専門職大学院を目指しているとのことでした。

貴学では「理学療法士」「作業療法士」「臨床検査技師」「看護師」「社会福祉士」「介護福祉士」「保育士」をはじめ福祉医療系の多くの専門職を大学各学部で養成しており、それらOB・OGからも、チームリーダーや管理職になった際に組織のマネジメントに対する悩みが寄せられるようになってきたということも踏まえ、今回専門職の要望に応える専門職大学院を開設することは社会的にも大きな意義があると思われまます。

福祉・介護や医療分野の人材養成やサービス環境整備は超高齢社会の進展を背景に、今後益々重要性が増すところでもあります。しかしこの領域では周知のとおり人材不足が深刻化しており、実践現場における優れた人材の養成については喫緊の課題です。こうした点を踏まえ、人材養成の中でも、特に「組織マネジメント力」を中心とした専門職養成という点に着目した大学院の計画は、今後の超高齢社会を支える人材養成という点で必要不可欠になっていき、非常に重要なものであると思われまます。

以上のとおり、今回の設置計画の実現は、誠に時宜を得たものであり、新たに専門職大学院を備えた文京学院大学の役割は、更に重要度が増すものと大きな期待を寄せているところでもあります。

つきましては、文京学院大学におかれましては、ぜひとも、今回の設置計画を推進いただき、実現されますように要望申し上げます。

令和4年11月吉日

社会福祉法人東京都社会福祉協議会  
東京都高齢者福祉施設協議会  
会長 田中雅英